

令和3年度「専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト」事業
ものづくりIT人材育成のためのリスタートプログラム開発事業

事業成果報告書

令和4年3月

学校法人穴吹学園

穴吹ビジネス専門学校

本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、穴吹ビジネス専門学校が実施した令和3年度「専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト」の成果をとりまとめたものです。

短期リカレント教育プログラム人材養成委員会 委員名簿

(順不同・敬称略)

氏名		所属・職名
1	伊藤 慎二郎	学校法人穴吹学園 高松校 統括副校長
2	北原 聡	学校法人麻生塾 麻生情報ビジネス専門学校 校長
3	小笠原 清人	アドバンスシステム株式会社 取締役 事業部長
4	仙倉 真行	株式会社 キャステム 部長
5	藤井 良朗	広島県東部機械金属工業協同組合 事務局長
6	宮西 大輔	中国職業能力開発大学校附属福山職業能力開発短期大学校 学務援助課 課長 (古澤委員人事異動により転勤のため新委員宮西氏就任)
7	楠目 幸男	公益財団法人 ひろしま産業振興機構 センター長 (住井委員が退職のため新委員楠目氏就任)
8	前田 靖	広島県商工労働部産業支援担当次長兼政策監
9	村上 美由紀	福山市経済産業局経済部 産業振興課 雇用労働担当課長
10	善浪 悟	福山市公共職業安定所 業務部長
11	信岡 誠三	学校法人穴吹学園 穴吹ビジネス専門学校 副校長
12	高橋 忍	学校法人穴吹学園 穴吹ビジネス専門学校 教務部課長

目次

1	事業の概要	
1.1	事業の概要	1
1.1.1	人材養成委員会の「設置」	1
1.1.2	人材養成委員会の「運営」	1
1.1.3	人材養成委員会の「評価」	1
1.1.4	人材養成委員会の「自立・提言」	1
1.2	各機関の役割・協力事項について	2
1.2.1	教育機関の役割	2
1.2.2	地域行政機関の役割	2
1.2.3	産業界の役割	2
1.3	開発する人材養成カリキュラム効果普及活用方法	3
1.3.1	効果普及活用方法	3
1.4	事業の趣旨・目的	4
1.4.1	ものづくり IT 人材育成プログラムの目的	4
1.4.2	ものづくり IT 人材育成プログラムの学習ターゲット	4
1.4.3	ものづくり IT 人材養成プログラム開発事業が目指す人材像	4
1.4.4	ものづくり IT 人材養成プログラム開発事業が必要な背景	5
1.5	事業の取り組み	6
1.5.1	2020 年度の取り組み	6
1.5.2	2021 年度の取り組み	7
1.5.3	2022 年度の取り組み	8
1.5.4	2020 年度の具体的取り組み	9
1.6	事業を実施する上で設置する会議	10
1.6.1.1	短期リカレント設置プログラム人材養成委員会	10
1.6.1.2	2020 年度短期リカレント設置プログラム 人材養成委員会実施状況	11
1.6.2.1	合同講座検証評価委員会の役割・検討内容	12
1.7	事業を実施する上で実施する実証講座	12
1.7.1	実証合同講座概要	12

1.7.2	取組を効果的・効率的に実施するための工夫	14
1.8	事業成果を検証する上で実施する調査	16
1.8.1	実証合同講座におけるアンケート調査	16
1.9	事業実施に伴う成果物	17
1.9.1	最終成果物	17
1.9.2	2020年度成果物	17
1.9.3	2021年度成果物	17
1.9.4	2022年度成果物	17
1.10	本事業終了後（2020年度）の成果の活用	
1.10.1	2022年度事業終了後の成果物活用方法	18
2	2021年度合同講座の実施結果	19
2.1	合同講座募集状況	19
2.1.1	募集状況	19
2.1.2	広報活動	19
2.1.3	申込経路	22
2.1.4	受講者属性	22
2.1.5	受講動機	23
2.2	合同講座アンケート分析結果	24
2.2.1	出席状	24
2.2.2	受講修了アンケート結果	24
2.2.3	合同講座評価委員会代替措置	31
2.2.4	合同講座能力証明評価シート	33
2.2.5	受講風景写真	34
3	2021年度合同講座シラバス・コマシラバス	35
3.1	シラバス・コマシラバス	35
	情報リテラシーⅠ・Ⅱ	35
	PCスキルⅠ	48
	PCスキルⅡ	55
	PCスキルⅢ	62
	CAD概論	69
	CADシステム	81
	CAD実習	94
4	短期リカレント教育プログラム人材養成委員会	115

図目次

図 1.1 人材養成委員会マネジメント概要図	1
図 1.2 IT 人材需給の試算結果	6

表目次

表 1-6-1 人材養成委員会の役割・検討内容	10
表 1-6-2 2021 年度人材養成委員会の実施状況	11
表 1-6-3 合同講座評価検証委員会の役割・検討内容	12
表 1-7 実証合同講座概要	12
表 1-7-1 2021 年合同講座カリキュラム	13
表 1-8 実証合同講座におけるアンケート調査	16
表 2-1 合同講座の実施結果	24
表 3-1 アンケート分析結果	30
表 4-1 2021 年度合同講座シラバス・コマシラバス	36

資料 目 次

第一回短期リカレント教育プログラム人材養成委員会 議事録	116
第二回短期リカレント教育プログラム人材養成委員会 議事録	121

1 事業の概要

1.1 事業の概要

1.1.1 人材育成委員会の「設置」【PLAN】

- ・事業責任者、コーディネーター、事務員の選定
- ・設置する人材育成プログラムの内容選定
- ・地域課題から求められる人材像の素案
- ・委員選定、産官学に委員依頼、調整
- ・産官学の役割、協力事項の確認
- ・委員会開催に向けての準備

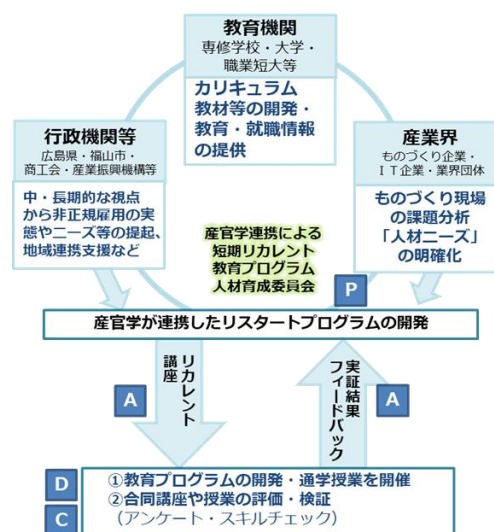


図 1.1 人材育成委員会マネジメント概要図

1.1.2 人材養成委員会の「運営」【DO】

- ・委員会の開催（人材養成委員会、合同講座評価検証委員会）
- ・教育プログラム開発と実証
- ・報告書等成果物の作成

1.1.3 人材養成委員会の「評価」【CHECK】

- ・人材養成委員会の運営・内容を評価する評価委員会の設置
- ・委員による人材養成委員会の運営・内容を評価及び改善の提案

1.1.4 人材養成委員会の「自立・提言」【ACTION】

- ・人材養成委員会の組織化
- ・自立に向けた産官学の役割、協力体制づくり
- ・教育機関の改善推進

1.2 各機関の役割・協力事項について

1.2.1 教育機関の役割

①地域人材ニーズの把握

人材ニーズのヒアリング及びアンケートの実施

②教育の提供

指導カリキュラム・シラバス作成と実施

適正な評価方法の確立

実証合同講座の企画運営

就職先と受講生のマッチング、

職業人講話・職場見学（体験）受入企業先開拓

③成果物の作成・提供

事業成果物を、紙媒体インターネット媒体などで広く提供

1.2.2 行政機関の役割

①地域の実情や方向性、地域課題、データ提供

地域の実情や方向性、地域課題、データ提供を行い、助言・提案等を行う

②連携支援

行政関係機関や地域企業等の連携支援を行う

1.2.3 産業界の役割

①人材ニーズ情報の提供

アンケート・ヒアリング調査等を通じ、委員会にリカレント教育対象者の
ニーズ等情報の提供

②実証講座の支援・評価

実証授業評価を行い、ものづくり現場と教育内容のすり合わせを行う。

③全国普及に向けた協力支援

1.3 開発する人材養成カリキュラム効果普及活用手法

1.3.1 効果普及活用手法

開発したカリキュラムや導入事例は Web 公開し、開発カリキュラム導入マニュアルを掲載したい。好循環ができれば、全専各連内や各企業間の交流などを通して普及することを考えている。地域の専修学校には全専各連等を通して直接案内することも検討したい。

また、事業を通して地域社会のネットワークグループを組織していくことは、就職氷河期世代の非正規雇用者への就職支援等にも役立つと考える。プログラム開発後、様々な異業種業界への公開も必要である。製造業界だけでなく備後地域の異業種団体・協会等へハローワークや行政を通じて本事業で開発したカリキュラムを案内するため、地域社会のネットワークグループの組織づくりを積極的に取り組んでいく。

1.4 事業の趣旨・目的

1.4.1 ものづくりIT人材育成のためのリスタートプログラム開発事業の趣旨・目的

就職氷河期を過ごした人は現在、30代半ば～40代半ばを迎え、このままあと5年～10年が経過すると、安定的な生活基盤を持たないまま高齢期を迎えるひとが増え始め、年金や医療費等の社会保障への致命的なダメージとなりかねない。2019年経済財政諮問会議では、非正規雇用371万人のうち正規雇用を希望していながら不本意に非正規雇用で働く者が少なくとも50万人と公表。今後、専門性が高いプロフェッショナルを求める時代に入るため、専門的知識・技術を学びなおしにより習得すれば、より活躍の機会は増えると考え。本事業では、これらの求職者に対して短期リカレント教育プログラムを提供し、資格や技術を身につけ、自信をもって再就職につなげて、今後の人生にやりがいと安定を供給できるようにする。

福山市は製造品等出荷額が約2兆円で、広島県内では広島市に次ぐ規模であり、製造業はまさしく備後地域の基幹産業でもあるが、経済産業省の調べによると、人材不足は94%以上の大企業・中小企業において顕在化しており、32%の企業は「ビジネスにも影響が出ている」と回答している。ITの導入はワークフローも含めた施工手順の「標準化」を図り、必須作業漏れの監視、現場毎に運用方法が異なる場合や、書類の整理が煩雑な場合など、統一した運用で作業漏れや作業ミスを防ぎ、業務効率化が向上することが期待できる。

当校の既存学科「ITビジネス科」の科目をカスタマイズし、IT基礎力に加え、モノづくりに関連するCAD・3Dプリンター、プログラミング力を学びなおし、スキルアップした人材を輩出することにより、業界全体の効率化と生産性向上につなげていく。

1.4.2 ものづくりIT人材育成のためのリスタートプログラム開発事業の学習ターゲット

就職氷河期世代の非正規雇用者または未就職者をターゲットとする。

1.4.3 ものづくりIT人材育成のためのリスタートプログラム開発事業が目指す人材像

IT基礎力に加え、モノづくりに関連するCAD・3Dプリンター、プログラミング力を学びなおし、業務効率化と生産性向上に資するスキルアップした人材

1.4.4 ものづくり IT 人材育成のためのリスタートプログラム開発事業が必要な背景

◆就職氷河期世代の現状、課題

「経済財政運営と改革の基本方針（令和元年6月21日閣議決定）」によると、いわゆる就職氷河期世代は、現在、30代半ばから40代半ばに至っているが、雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った世代であり、その中には、希望する就職ができず、新卒一括採用をはじめとした流動性に乏しい雇用慣行が続いてきたこともあり、現在も、不本意ながら不安定な仕事に就いている、無業の状態にあるなど、様々な課題に直面している方がいる。

全国での対象者数は正規雇用を希望していながら不本意に非正規雇用で働く方が少なくとも50万人、就業を希望しながら様々な事情により就職活動をしていない長期無業者、

社会とのつながりを作り、社会参加に向けてより丁寧な支援を必要とする方などが100万人程度とされている。

就職氷河期世代が抱える固有の課題としては、希望する就業とのギャップ、実社会での経験不足、年齢の上昇等が挙げられている。再就職を検討する際に、無資格・未経験であることで、ITを利用しての仕事内容に一步踏み出せず、現状維持を続けている方も多いのが現状である。

◆リスタートプログラムによる安定就労

経済産業省「IT人材需給に関する調査（平成31年3月）」によると、AIやあらゆるモノがネットにつながるIoTなど先端的なITを担う人材が2030年に45万人不足する恐れがあると試算した。急増する需要に人材の供給が追いつかないため、AIでは12万人不足するとの予測も示した。AIを含めITの先端分野の人材不足が予測される。

本事業ではITスキルだけでなく、付加価値技術としてCADオペレータースキル、ビジネスマナー、コミュニケーション手法など幅広く学ぶことができる。IT業務への抵抗感をなくしインターネット、タブレット・スマートフォンを利用した報告や、蓄積させたデータを分析し提案へと繋げられる人材育成及びビジネスマナー系授業によりコミュニケーション能力を鍛え、安定就労に寄与する。



1.5 事業の取り組み

1.5.1 2020年度の取り組み

①. 調査(製造業社人材ニーズ調査アンケート)

就職部と連携して、備後地域のものづくり企業への視察・ヒヤリングを実施。人手不足の現状や人材育成に向けた取り組み、事業所にとって必要な人材など備後地域のものづくり企業の実態や人材ニーズをアンケート調査。調査結果として、「備後地域のものづくり企業の実態と課題」、「課題解決に向けた人材像」を分析し、合同講座を受講することで目指すべき人材像を具体化する。

②. 調査結果報告(製造業者人材ニーズ調査アンケート)

1) 調査項目

企業概要、人材確保と人材育成、

必要スキル(知識分野、言語、資格、技術等)、ITの活用状況(使用ソフトや機械など)

2) 分析内容

職種別充足度、必要度、製造技術・ITスキルの種類別必要度合い

③. 短期リカレント教育プログラム人材育成委員会の開催 (年2回)

第1回開催日: 2020年10月14(水)

第2回開催日：2021年2月17日（水）

④. 短期リカレント教育プログラム人材育成委員会の議題内容

- 1) 事業の目的と最新業界動向等情報共有
- 2) 課題と人材ニーズを整理
- 3) 養成する能力の特定
- 4) 短期リカレントプログラム案の策定
- 5) 次年度のスケジュール策定
- 6) 職業人講話・職場見学（体験）受入先選定

⑤. 報告と成果物

- 1) アンケートヒアリング調査分析報告書
- 2) 事業報告書
- 3) Web サイトでの活動報告

1.5.2 2021 年度の取り組み

①. 短期リカレント教育プログラムの開発

- 1) シラバス・コマシラバスの作成
 - ・受講することによるスキル・能力を体系的に整理
 - ・シラバス、コマシラバスの作成

②. 合同講座の開催（1 サイクル目）

- 1) 募集（チラシ、Web 制作等）
- 2) 講座運営
- 3) 合同講座評価委員の見学・受講アンケート分析・評価検証

③. 合同講座・開発教材の評価分析

- 1) アンケート、評価シートの分析
- 2) 評価手法の分析
- 3) 指導法、開発教材の評価・分析

④. 視察調査

- 1) データ活用による先進的な取組みをし、成功している製造業等の視察を行い、次年度実施の合同講座のブラッシュアップに反映する検討材料にする
 - コロナ禍により延期

⑤. 委員会開催

第1回開催日：2021年7月21日（水）オンライン方式にて実施

第2回開催日：2022年2月7日（月）オンライン方式にて実施

- 1) 合同講座の課題整理
- 2) 短期リカレントプログラム案の見直し検討
- 3) 次年度のスケジュール策定
- 4) 合同講座検証評価委員の評価・分析（コロナ禍により延期、代替措置）

⑥. 報告と成果物

- 1) カリキュラム（成果物一式）
- 2) 事業報告書
- 3) Web サイトでの活動報告

1.5.3 2022年度の取り組み

①. 短期リカレント教育プログラムブラッシュアップ（開発と検証）

- 1) ブラッシュアップしたプログラムの開発・スキル・能力を体系的に整理
- 2) 指導法及び評価手法の開発
- 3) シラバス、コマシラバスの作成

②. ブラッシュアップした合同講座の開催（2サイクル目）

- 1) 募集（チラシ、Web制作等）
- 2) 講座運営
- 3) 合同講座評価委員の見学・受講アンケート分析・評価検証

③. 公開講座カリキュラム開発

- 1) 全国普及に向けた公開講座カリキュラムの開発

④. 講座・開発教材の評価分析

- 1) アンケート、評価シートの分析
- 2) 評価手法の分析
- 3) 指導法の評価・分析

⑥. 委員会開催

- 1) 合同講座の課題整理
- 2) 短期リカレントプログラムの策定
- 3) 全国普及方法の策定

⑥. 報告と成果物

- 1) カリキュラム（成果物一式）
- 2) 事業総括報告書
- 3) Web サイトでの活動報告

1.5.4 2021 年度の具体的取り組み

<事業開始 ～ 10月(カリキュラム素案決定から募集開始)>

- 1) 短期リカレント教育プログラム人材養成委員会：
第1回7月21日オンライン会議形式にて実施
・委員会の準備
【議題】
事業説明、プログラム全体の体系整理、人材像の確定、プログラムの内容、実証
方法の確定、カリキュラム素案確定
- 2) 募集活動：
HWの協力による募集チラシ配布・説明会設定や備後地域中心の製造企業訪問等。
地方情報誌の掲載やHP掲載、SNS等による広報活動。
- 3) 短期リカレント教育プログラムの開発：
シラバス・コマシラバスの作成
受講アンケートの分析により次年度プログラム開発の基礎資料とする。

<10月～2月(短期リカレント教育プログラム合同講座実証)>

- 1) 合同講座の開催（1サイクル目）：
講座運営
合同講座評価委員の見学等はコロナ禍により見送り
受講アンケート分析を行い人材養成委員会にて評価検証
- 2) 短期リカレント教育プログラム人材養成委員会：委員会の開催：
第2回2月7日オンライン会議形式にて実施
・委員会の準備
<議題>
合同講座の課題整理、短期リカレントプログラム素案の決定及び見直し検討、合同講
座募集状況の報告、合同講座実施結果の報告、次年度スケジュール策定、プログラム
全体の体系整理
- 3) 委員会議事録作成
- 4) 合同講座評価委員の選定

<2月～3月（短期リカレント教育プログラム開発）>

- 1) プログラムの体系整理
- 2) 科目名の決定
- 3) 各科目の時間数の決定
- 4) 教材の選定（講師作成レジュメでの実施）
- 5) PC 機材やソフトウェア等の選定
- 6) 合同講座シラバス案作成・・・シラバスの作成
- 7) 講座スケジュール検討

1.6 事業を運営する上で設置する会議

1.6.1 短期リカレント教育プログラム人材養成委員会

1.6.1.1 短期リカレント教育プログラム人材養成委員会役割・検討内容

下表に、委員会名、役割・目的、検討する具体的内容をまとめた。

会議名	短期リカレント教育プログラム人材養成委員会
役割・目的	地域の基幹産業である「ものづくり」を支えるため、地域の産学官と連携して、ITを活用した生産性向上や、IoT、CAD等の技術革新に対応できる「ものづくり人材」を養成するカリキュラムを開発する。
検討の 具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ■育成すべき人材像の整理 ■人材が身に付けておくべきスキル・能力を体系的に整理（スキルマップ） ■体系的に整理したスキルの指導方法、必要な教材・機材 ■体系的に整理したスキルの評価手法 ■スキル・能力の習得までのカリキュラムを体系的に整理 ■開発したカリキュラムの実証、導入に当たっての課題を洗い出す ■次年度への取り組み ■全国普及への取り組み

表 1-6-1 人材養成委員会の役割・検討内容

1.6.1.2 2021年度 短期リカレント教育プログラム人材養成委員会実施状況

委員会議事録はP177～、192～（資料）参照

	日時	場所	議題
第一回	2021年7月21日 15:00～17:00	オンライン会議	2021年度事業計画と意見・提案 合同講座カリキュラムの素案、募集方法等につ き意見・提案
第二回	2022年2月7日 15:00～17:00	オンライン会議	合同講座募集状況報告と合同講座実施結果報 告につき意見・提案、次年度スケジュール確認

表 1-6-2 2021年度人材養成委員会の実施状況

1.6.2 合同講座評価検証委員会

1.6.2.1 合同講座評価検証委員会の役割・検討内容

下表に、委員会名、役割・目的、検討する具体的内容をまとめた。

会議名	合同講座評価検証委員会
役割・目的	開発したプログラムの実証授業（合同講座）の見学・受講アンケート分析・受講状況・受講の有用性等を評価・分析するために構成する。
検討の 具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 合同講座受講ニーズの分析 ■ 受講したあとのスキル・能力の整理 ■ 合同講座の指導方法、教材等進め方の状況確認・分析 ■ 評価項目の検討 ■ 受講状況の確認 ■ 受講後の有用性の評価 ■ 短期リカレント教育プログラム人材養成委員会への報告など

表 1-6-3 合同講座評価検証委員会の役割・検討内容

※コロナ禍により評価検証委員会（見学等）は延期。代替措置として受講アンケートの分析を人材養成委員会で評価検証及び合同講座各担当講師コメントによる評価を実施。

1.7 事業成果を検証する上で実施する実証講座

1.7.1 実証合同講座概要

実証講座の対象者	就職氷河期世代の非正規雇用で働く者、求職者
期間（日数・コマ数）	<p>約3カ月（10/23～1/29）</p> <p>通学 12日、1日6コマ 合計72時間</p> <p>通信 6コマ（コミュニケーション、職業人講話）</p> <p>※就職支援は求職者が1名のため個別キャリアコンで対応</p>
実施手法	<p>以下の実施方法を検討する</p> <p>公募、リカレント教育訓練として実施、製造業に必要な技術・スキルの基礎を学び直し、非正規雇用から正規雇用の転換や求職者については早期就職の実現を図るため、スキルアップを目指す。</p>
想定される受講者数	<p>20名（うち社会人20名）</p> <p>※非正規雇用者14名、無職等その他6名</p>

表 1-7 実証合同講座概要

実証合同講座カリキュラム

No	科名 (講義/演習)	区分 新/既	時間	概要または追加内容
1	情報リテラシー I/II (通学講座)	既存	12	コンピュータシステム、ネットワーク技術、情報の基礎理論、情報化社会、情報セキュリティなどを学ぶ。
2	PCスキル I (通学講座)	既存	6	ドライブの利用、Microsoftアカウント設定、映像編集、グループウェアの利用、サーバー接続などを学ぶ
3	PCスキル II (通学講座)	既存	12	ExcelVBA (基礎・応用)、データベース概論・設計、Access7及びVBAのプログラミング*技術を学ぶ。
4	CAD概論 (通学講座)	新規	12	CADシステムの概要と機能、作図データ、ハードウェア、ネットワークの知識、情報セキュリティと知的財産、CADシステムの運用・管理、・3次元CADの基礎知識を学ぶ。
5	CADシステム (通学講座)	新規	12	CADシステムの基本操作、各種コマンド、図形の選択方法、レイヤー、線種、文字スタイルの設定 (使用ソフト: AutoCAD2019) を学ぶ。
6	2次元、3次元CAD実習 (通学講座)	新規	18	CAD (AutoCADによる2D、3Dの実習予定) 実習、作図から3Dプリンタ部品製作までの一連の処理技術を学ぶ。
7	職場におけるコミュニケーション (通信講座)	新規	3	コミュニケーションの基本、正しい日本語、心構え、話し方、傾聴、カウンセリング技法、各種グループワーク、ビジネスマナー、受付、電話、接客応対等を学ぶ。
8	就職支援 (希望者のみ)	新規	—	履歴書、職務経歴書、添え状作成支援及び面接対策など就職に向けた支援を提供する。
9	職業人講話 (通信講座)	新規	3	職場で問題になっているハラスメントの防止について講話を実施。職場改善のきっかけにもなり、学習のモチベーションアップや就労意識を啓発する。
10	職場見学及び職場体験 (希望者のみ)	新規	—	地元ものづくり企業やIT企業に訪問し、実際のNC工作機械やロボット、IoT機器の導入事例などを見学し、体験できる機会も設ける。

表 1-7-1 2021 年合同講座カリキュラム

※通学講座は 72 時間で実施。通信講座は 6 時間の短縮で実施。

【具体的なスケジュール日程】

10月開講

土曜日 10:00~17:00 (休憩 12:00~13:00)

受講生 20 名で開講

科目	担当講師
第1回・・・10/23 (土) 全日6h・・・情報リテラシー	穂垣先生
第2回・・・10/30 (土) 全日6h・・・情報リテラシー	穂垣先生
第3回・・・11/6 (土) 全日6h・・・PCスキル	島田先生
第4回・・・11/13 (土) 全日6h・・・CAD 概論	串田先生
第5回・・・11/20 (土) 全日6h・・・CAD 概論	串田先生
第6回・・・11/27 (土) 全日6h・・・CAD システム	串田先生
第7回・・・12/4 (土) 全日6h・・・CAD システム	串田先生
第8回・・・12/18 (土) 全日6h・・・CAD 実習	串田先生

第9回・・・12/25（土）全日6h・・・PCスキル	島田先生
第10回・・・1/15（土）全日6h・・・CAD実習	串田先生
第11回・・・1/22（土）全日6h・・・PCスキル	島田先生
第12回・・・1/29（土）全日6h・・・CAD実習	串田先生

■ヒアリング調査での企業担当者や委員のご意見の中に、非正規雇用者等が勤務中又は勤務外に通学研修に派遣する場合は時間を短縮するなどでない研修を推奨する業者が少ないのではないかとの声に技術研修はPC基礎及びCAD系科目に絞り集中型講義にすることで研修総時間を見直し策定実施した。また、当初予定していたe-コマース科目は不要という多数の意見により削除した。PCスキルについても比較的高度な知識を取り入れるのではなく、基本を学ぶことにより柔軟に対応できる人材を育成することが必要ではないかとの声もあり、基本事項を中心に学習するプログラム案とした。

就職支援は求職者が1名のみで個別にキャリアコンで対応した。応募書類の書き方や有効求人媒体の見方など説明し対応した。今後継続して就職フォローを行う。

職場見学及び職場体験はコロナ禍の状況であったことにより希望者がいなかったため今年度は実施しなかった。予定していた入栄工業株式会社には再度次年度依頼する予定。

また5名程度で構成した合同講座検証委員会を発足させ、合同講座受講中検証委員が見学・受講状況の確認、アンケート分析結果の意見集約等を行い、教育プログラムの改善点・修正点をまとめる予定であったが、コロナの感染拡大により見学が等見送りとなった。受講状況の確認及びアンケート分析結果については人材養成委員会にて報告することと、科目講師コメントで代替とした。

コロナの影響もあり通学講座を科目と時間を絞って実施をしたが、それでも出席率40%にとどまった。次年度は通信学習の開発を中心に行うことも有効であるので検討したい。

1.7.2 取組を効果的・効率的に実施するための工夫

短期リカレント教育プログラム目標

- 就職氷河期世代の合同講座受講者の受講者数・・・1サイクル目20名以上
- 就職氷河期世代の合同講座受講者の受講者数（ブラッシュアップ）
・・・2サイクル目20名以上 計40名以上
- 就職氷河期世代の合同講座受講者の就職者数・・・講座受講者数の8割以上
を達成するための工夫

○受講しやすいカリキュラム案の策定

リカレントカリキュラムは働きながら受講しやすい日時を選択する。通学よりも通信で受講するほうが望ましいとの委員の意見もあり、教育プログラム人材育成委員会で最終講座形態（通学又は通信）及びカリキュラムを策定する。

○受講することで得られる資格（案）

- ① IT パスポート：すべての社会人に必要な IT 基礎を学習できる国家資格
- ② CAD 利用技術者試験：2次元 CAD 利用技術者（AutoCAD 使用）
- ③ 情報検定（J 検）情報活用試験 2 級・1 級
- ④ Microsoft office スペシャリスト

上記資格もカリキュラム案が確定次第変更することもありうる。

○受講生募集の方法

- ① 募集用チラシを作成し公共施設（若者サボステ等）に設置依頼し広く周知する。
- ② 専用 HP を作成し事業の概要や目標など明記する。チラシの QR コードから専用 HP へつなげる。さらにリマーケティング広告を行い、「就職」「正社員」「就職氷河期」というワードに興味ある方に専用 HP へのリンクが表示されるようにする。
- ③ 新聞広告掲載、求人誌への広告掲載、タウン誌広告掲載。
- ④ 希望者には随時施設見学会を行うとともに日時を設定した合同講座説明会を実施する。
- ⑤ 県内製造業者等へ DM 及び企業訪問を行う。企業訪問は当校卒業生の就職先を中心に当校の協力企業等に対し行う。
- ⑥ ハローワーク内のチラシ設置（協力要請）
- ⑦ 各市町村広報、無料パブリシティへの掲載（協力要請）

目標就職率（8割以上）を達成するために

○受講者に対するキャリアコンサルティング、就職支援の方法

- ① キャリアコンサルタント（ジョブ・カード作成アドバイザー）を 1 名、常時配置し受講者に応じた就労支援を行う。また、求人開拓・当協会の 協力企業の求人紹介を実施し、手厚い支援を行える体制づくりを整える。
- ② 短期リカレント教育プログラムに「就職支援」を取り入れ自己分析、応募書類の書き方、面接対策等実施。不足している場合は時間外に個別対応する。
- ③ キャリアコンサルティングは月 1 回以上個別に実施し、受講者に応じた目定を行い就職につなげる。合同講座修了後 3 ヶ月も電話フォロー等含め継続して就職支援を実施する。
- ④ 開講日以外にも相談可能。電話やメール、コンサルタント在中時は面談にて対応。
- ⑤ 合同講座 2 か月目より就労アンケートをとり、就職活動の状況把握とアドバイスをを行い、意欲を高めフォローする。また、希望企業への情報を他のアドバイザーと共有し、早期就労につなげるよう努める。意欲が低下している受講者に対してはコンスタントに声掛けを行いフォローする。

○就職先と受講者のマッチング方法

キャリアコンサルタント（ジョブ・カード作成アドバイザー）を1名常時配置し、受講者といつでも相談できる環境づくりを行う。初週から定期的にアンケートを取り、就職状況の確認と条件整理を行い希望内容を把握する。受講者のニーズに応じた就労支援を行い、企業開拓を専任とする就職支援員と連携を取りながら希望内容に沿った企業紹介を行う。また、職場見学、職場体験ができるように企業と交渉し、就職先企業と受講者のマッチングを図り受講者を支援する。

職場見学・職場体験の受け入れ先、合同講座受講後の就職先として想定される事業所等の必要数の確保及び質の担保の方法については、短期リカレント教育プログラム人材育成委員会等において参加委員及び団体会員企業（広島県東部機械金属工業協同組合172社など）やハローワークに求人が出ている企業に依頼を行う。質の担保として労働局からの是正等を受けていないかを確認する。

○ハローワークの協力体制

教育プログラムの受講対象となる就職氷河期世代の非正規雇用者や求職者数の実数を把握するためハローワークへの協力を要請し聞き取り調査を実施する。開発する教育プログラムに対する意見や受講後の就職先のマッチング、受講生の相談等も強化し、就職者数の目標クリアを目指す。

1.8 事業成果を検証する上で実施する調査

1.8.1 実証合同講座におけるアンケート調査

調査名	実証講座におけるアンケート調査
調査目的	実証講座の内容の理解度や課題調査し改善に活用する
調査手法	実証講座終了時
調査項目	総合評価、各科目内容評価など
分析内容	開発カリキュラム課題等
活用手法	カリキュラムに反映

表 1-8 実証合同講座におけるアンケート調査

1.9 事業実施に伴う成果物

1.9.1 最終成果物

- 短期リカレント教育プログラム策定
- 通学指導要領、シラバス・コマシラバスの作成
- 公開講座用カリキュラムの策定
- 評価基準及び評価シートの作成
- 合同講座評価検証委員の評価報告書

1.9.2 2020年成果物

1. 短期リカレント教育プログラム策定（案）
2. 合同講座で利用する機材やソフトウェア等の選定
3. 合同講座シラバスの作成（案）

1.9.3 2021年度成果物

1. 短期リカレント教育プログラム策定
2. 通学指導要領の作成
3. 合同講座シラバス・コマシラバスの作成
4. 評価基準及び評価シートの作成
5. 合同講座評価検証委員の評価報告書（コロナ禍により見送り。次年度実施）

1.9.4 2022年度成果物

1. 短期リカレント教育プログラム策定（ブラッシュアップ案）
2. 通学指導要領の作成（ブラッシュアップ案）
3. 合同講座シラバス・コマシラバスの作成（ブラッシュアップ案）
4. 評価基準及び評価シートの作成（ブラッシュアップ案）
5. 合同講座評価検証委員の評価報告書

1.10 本事業終了後（2022年度）の成果の活用

開発したカリキュラム・教育プログラムを普及させるため、以下の内容を検討し実施する。

1.10.1 2022年度事業終了後の成果物活用方法

Web 公開

取り組みやアンケート結果、開発したカリキュラム、実証内容及び結果等を公開。

情報交換が盛んな全国専門学校教育研究会

（<http://www.zsenken.or.jp/index.php>）の新着情報に掲載してもらうことで、

全国の専修学校に見てもらふ機会を設ける。

実証講座で開発・使用したデータやツール等があれば、それらも公開し、他校が導入しやすいようにする。

成果報告書の作成

成果報告書を作成し、Web 公開。

継続的な取り組みについて

開発したカリキュラムで、継続的に実施する科目については、改良や変更をしたら公開しているWEBも更新する。

また、開発したカリキュラムを導入した専修学校等があれば、定期的に情報交換を図る。

2 2021年度 合同講座の実施結果

2.1 合同講座募集状況報告

2.1.1 募集状況

- 1) 出願者数 22名
- 2) 合格者数 20名 定員20名(充足率100%)

※出願者数は22名あったがうち2名は就職氷河期世代ではないため辞退いただいた。

2.1.2 広報活動

1) 広告媒体

- 福山市記者クラブ 募集チラシ持ち込み (A4 募集チラシ)
- 経済レポート: 9/10 記事掲載

広島県工業部

穴吹カレッジ

リカレント講座を無料開講

IT・ものづくり人材育成
就職氷河期世代対象に

(学)穴吹学園穴吹カレッジ キャリアアップスクール (福山市三之丸町30-1・福山駅構内) 山崎内さんすて福山3階 電084・991・0250) は、文部科学省の委託を受け、就職氷河期世代を対象としてIT・ものづくり業界で活躍できる人材育成のためのリカレント(学び直し)講座を無料で開講する。同講座は、ITの基礎力や、ものづくりに関連するCAD・3Dプリンタの技術、コミュニケーション手法等を指導し、製造現場で

せとや島川

工場隣接の店舗を整備 10日からお彼岸フェア

和菓子製造、販売の(株)せとや島川(福山市若松町2-7、島川界三社長、電084・921・8003)は、工場隣接の店舗を整備してリフレッシュアップした。また、9月10日(金)から「秋のお彼岸フェア」を開催する。

店舗は事業所の一部を改装し玄関を整備したほか、ショーケースや待合席を設けた。以前から工場直売を行っていたが、工場の奥まで入ってもらっていたため、買いやすく道路に面した入り口

正規職員として働くための基礎技術を身につけるとともに、課題解決等生産性向上の提案に繋げられる人材を育成するもので、こうした技術者を輩出し、IT・ものづくり業界全体の効率化、生産性向上につなげるのが目的。

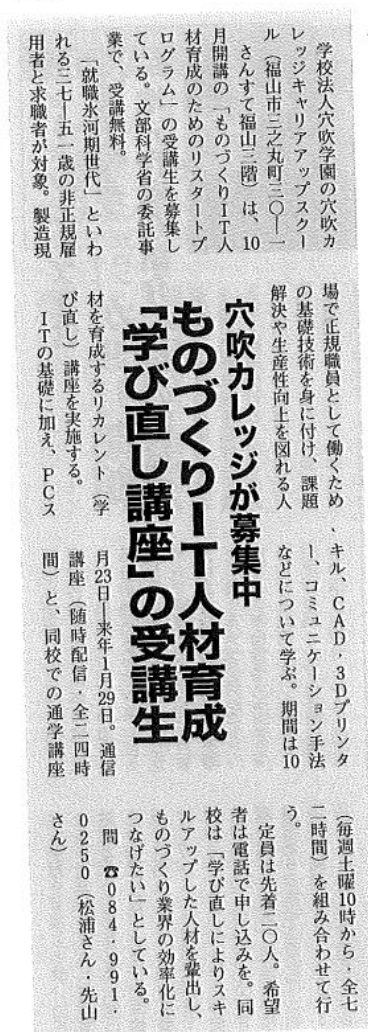
受講科目は情報リテラシー、パソコンスキル、CAD概論、2次元・3次元CAD実習、職場における

コミュニケーションはか(必要と思われる科目の選択受講も可能)。期間は10月23日(土)〜2022年1月29日(土)。通学(土曜日午前10時〜午後5時)と通信(インターネットでの随時配信)により計96時間学ぶ。対象は37〜51歳の非正規雇用者または求職者。定員20人。無料。電話かFAX(同991・0254)で申し込む。



新装した、せとや島川の店舗

・BJ ビジネス情報誌：9/10 記事掲載



2) 備後地域製造業者 DM9/21、9/27 の2日わけて送付：500社

3) 紹介活動

- ・当事業委員会委員へ紹介依頼・訪問

福山公共職業安定所 業務部長(当委員)より10/12(火)と10/18(月)に「LINE」及び「Twitter」で配信

福山市経済環境局経済部産業振興課雇用労働担当課長(当委員)よりチラシ掲示

4) HP

- ・グループ内(専門学校、会社等)：HP掲載

5) SNS 広告

福山校文科省事業 SNS広告実施レポート
 ■集計期間2021年10月6日～2021年10月15日

<ものづくり>

キャンペーン	表示回数	クリック数	クリック率	クリック単価	広告コスト	コンバージョン数
合計	49,581	357	0.72%	¥113	¥40,346	0
Facebook広告	16,629	141	0.85%	¥111	¥15,638	0
Instagram広告	32,952	216	0.66%	¥114	¥24,708	0

福山校文科省事業ものづくり 広告実施レポート
 ■集計期間2021年10月6日～2021年10月15日

(参考)

facebook

Facebook広告日別

日	リーチ数	表示回数	クリック数	クリック率	クリック単価	広告コスト	コンバージョン数
合計	14,943	16,629	141	0.94%	¥111	¥15,638	0
2021/10/6	2,286	2,500	12	0.52%	¥131	¥1,566	0
2021/10/7	1,483	1,724	15	1.01%	¥109	¥1,637	0
2021/10/8	1,764	2,012	15	0.85%	¥115	¥1,724	0
2021/10/9	1,452	1,635	23	1.58%	¥76	¥1,754	0
2021/10/10	2,302	2,565	17	0.74%	¥110	¥1,866	0
2021/10/11	1,097	1,188	16	1.46%	¥106	¥1,703	0
2021/10/12	1,139	1,217	12	1.05%	¥124	¥1,489	0
2021/10/13	1,456	1,645	12	0.82%	¥130	¥1,554	0
2021/10/14	1,220	1,339	13	1.07%	¥117	¥1,523	0
2021/10/15	744	804	6	0.81%	¥137	¥822	0

 Instagram

Instagram広告日別

日	リーチ数	表示回数	クリック数	クリック率	クリック単価	広告コスト	コンバージョン数
合計	32,129	32,952	216	0.67%	¥114	¥24,708	0
2021/10/6	3,955	3,999	21	0.53%	¥120	¥2,511	0
2021/10/7	3,795	3,891	24	0.63%	¥112	¥2,697	0
2021/10/8	4,507	4,671	22	0.49%	¥119	¥2,616	0
2021/10/9	2,714	2,782	26	0.96%	¥88	¥2,295	0
2021/10/10	3,567	3,643	21	0.59%	¥115	¥2,414	0
2021/10/11	3,047	3,178	23	0.75%	¥110	¥2,533	0
2021/10/12	3,604	3,717	20	0.55%	¥115	¥2,309	0
2021/10/13	2,582	2,623	20	0.77%	¥133	¥2,659	0
2021/10/14	2,518	2,571	22	0.87%	¥133	¥2,927	0
21/10/15	1,840	1,877	17	0.92%	¥103	¥1,747	0

2.1.3 申し込み経路（20名）

	人数	割合
紹介	7	35%
ビジネス情報誌	2	10%
Instagram	1	5%
フェイスブック	6	30%
HP	1	5%
DM	1	5%
不明	2	10%
合計	20	100%

2.1.4 受講者（20名）属性報告

1) 性別

	人数	割合
男性	2	10%
女性	18	90%
合計	20	100%

2) 年齢

	人数	割合
30代	4	20%
40代	9	45%
50代	7	35%
合計	20	100%

3) 職業

	人数	割合
無職	2	10%
非正規雇用	14	70%
派遣社員	2	10%
自営	1	5%
その他	1	5%
合計	20	100%

4) 居住地

	人数	割合
福山市	12	60%
尾道市	1	5%
井原市	1	5%
広島市	3	15%
安芸郡府中町	1	5%
岡山市	2	10%
合計	20	100%

2.1.5 受講動機

・ものづくりに興味があったため。
・これから自分のスキルを身につけようと思っていたところタイミングよくこの講座があることをしたから。
・いずれ転職したいと思いスキルが上がればと思った。
・専門的な知識が学べると思ったから。
・私は13年前まで専門職に就いていました。育児をきっかけに離職し福山に cameましたが私のこれまでやっていたことを活かせる仕事は限られており自分のスキルに限界を感じていました。そんなときにこの講座を知りCADのスキルを身につけたいと思い申しました。
・CADに関心があり、技能を身につけたいと考えたため。
・将来PCスキルを活かして日本で就職を希望している留学生の学習をサポートするため、自身の知識やスキルをブラッシュアップするとともに新しいスキルを身につけたいと思いました。
・自分のスキルチェックとスキルアップ。できれば正規雇用を目指したいので。
・CADの勉強。
・基礎ができていないのでこれを機に学びたいと思ったから。
・CADに少し興味があったが学校に通うとなると高額なのでこちらに通わせていただくことにしました。
・CADに興味があったため。
・パソコンが不得意で基礎を学び今よりできるようになりたかった。
・以前からものづくりに興味があり、前職も製造業の事務として勤務していた

が、現場でものづくりをしたいという気持ちがあり、この度 CAD からパソコンも学べるということで参加した。

2.1.6 受講通して身につけたい知識、スキル

・ CAD を使えるようになりたい。
・ とりあえず身につけただけでなく即戦力とまでもいかずとも現場や職場で CAD をきちんと扱えると伝えられるぐらいの力をつけたいと思っています。
・ CAD 全般の知識を身につけ即仕事に結び付けたい。
・ 情報リテラシー、CAD、PC スキル
・ CAD の知識をざっくり勉強したい。
・ CAD。
・ 今の自分よりスキルアップしていきたい。
・ パソコンスキルを向上させたい。
・ CAD とパソコンができるようになりたい。

表 2-1 合同講座の実施結果

2.2 合同講座受講アンケート分析結果報告

2.2.1 合同講座出席状況

出席率

初回は 18 名が参加したが、コロナの影響もあり途中から出席状況が悪化。全体通して平均で 40%（8 名）の出席状況であった。

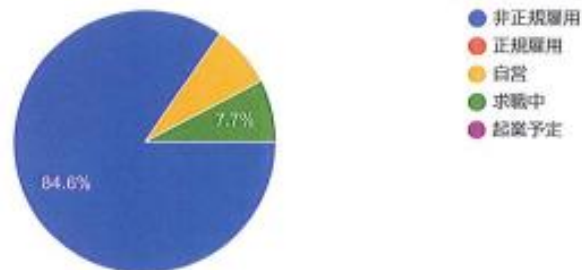
2.2.2 受講生修了アンケート結果

回答率 65%（20 名中 13 名回答）

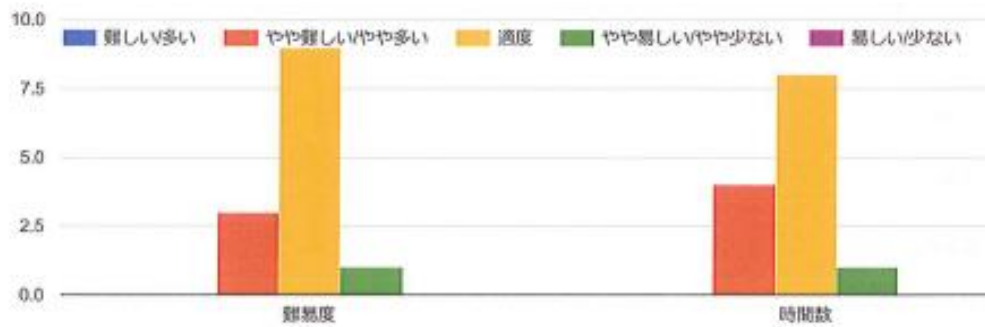


現在の就業形態

13件の回答



「情報リテラシー」科目について



「情報リテラシー」の感想がありましたら入力ください

4件の回答

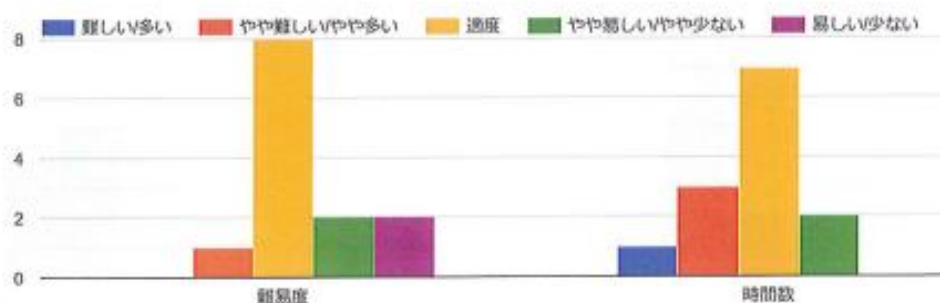
知らないことばかりだったので大変勉強になった

ネットワークの仕組みがなんとなく理解できました。

知っているようでしっかりと理解していない言葉があったのでよかった

知らないことがたくさんありました。

「PCスキル」科目について



「PCスキル」の感想がありましたら入力ください

8件の回答

アナログ人間だったので知識を身につけることができ助かった

今後活用していきたいと思います。また学べる機会があれば学びたい。

途中からコロナ感染拡大により参加できなくなったが、PCスキルは仕事をする上で必要であると思っている。

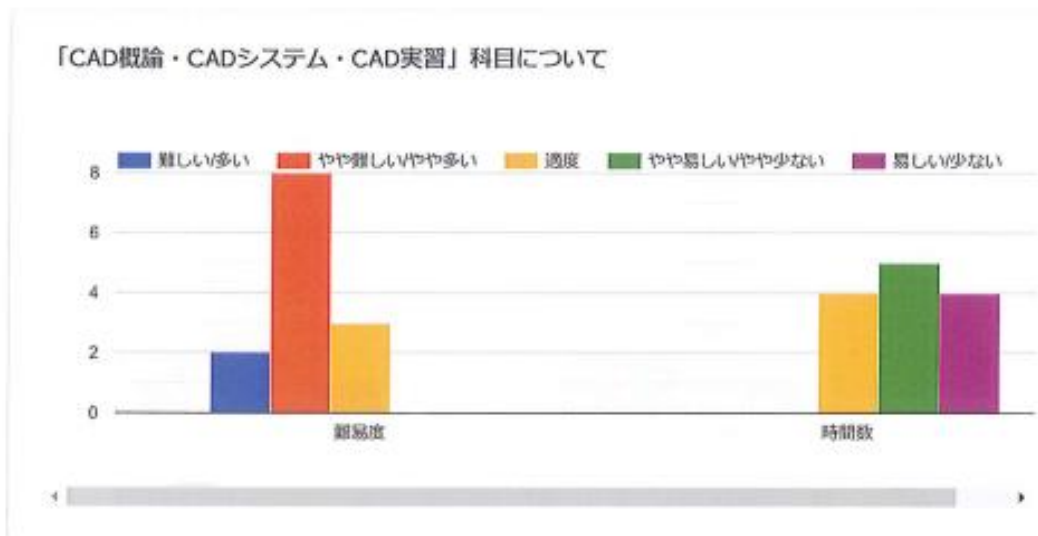
PCスキルに時間を割きすぎと思う。内容も簡単すぎて困った。

リカレントになりました。

パソコンの基本的な知識を改めて勉強することが出来た

基本的なことが多かったため自分でもできると思った。

パソコンは比較的できた。



「CAD概論・CADシステム・CAD実習」の感想がありましたら入力ください
10件の回答

モノづくりは楽しいと感じた

初めて学んで楽しかったです。

途中からコロナ感染拡大により参加できなくなったが、機会があれば受講してスキルを身につけたい。

講座回数がもう少しあればよかったです。内容はとてもよくさらに関心が強くなりました。

難しいし時間が足りなかったような。1週とぶと記憶をよびだすのが大変

難しかったけど楽しかったです。

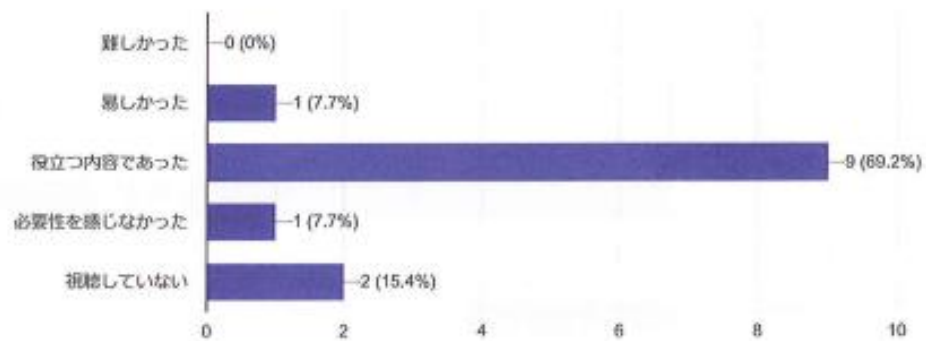
続けて勉強して使えるようになりたいと思っています。

最終日にした問題は難しかったけどもっと勉強したいと思った。

もう少し時間がほしかった。3Dプリンタで部品作成は面白かった。

通信「職業人講話」について当てはまるものに印をつけてください

13 件の回答



「職業人講話」について感想を入力ください

13 件の回答

- 今悩んでることとマッチしてました
- 職場改善ができるのではないかと考えた
- 先生の話に大変興味がわきました。
- 工作上必要なことを学べたと思う。
- なし
- まだ視聴していません
- 感想なし
- 特にありません
- 感想はとくにありません。



表 2-2 アンケート分析結果

2.2.3 合同講座評価委員会代替措置

※コロナ禍により合同講座委員会が開催できなかったことにより、代替措置として担当講師コメント（講座評価）をあげた。

【情報リテラシー担当講師 穂垣講師コメント】

CAD の IT 基礎の範囲と重なったため、CAD の検定のテキストと IT パスポートのテキストを参考に情報リテラシーの内容を考えました。

受講生さんは、CAD を学習したい目的の方たちでしたが、検定までは考えられてなさそうだったのであまり興味が持てない分野だったかもしれません。

講義中心で1日6時間は、集中力ももたないし大変だったと思いました。

基礎知識を学習するために、HTML 言語などパソコン操作は興味をもっていただけかと思いました。

次回があるようでしたら、パソコンも利用できることからパソコン操作を増やせるように考えてみたいと思います。

今回は HTML 言語、Web 会議など行いましたが、共有操作などネットワークを利用しアプリを使った内容などが良いかもしれません。

【PC スキル担当講師 島田講師コメント】

受講生の皆様は、Word・Excel・PowerPoint のアプリケーションは、すでに日常使用されている状況で、学び直し（リカレント）というテーマそのものだったようです。ほとんどは、再確認といった感じではありましたが、初めて知った機能などもあり、次の授業で、「早速前回教わった機能を仕事で使いました。」との報告もありました。

今回の講座では、2019 バージョンの使用でしたので、新機能のご紹介は、興味を持たれた方が多くいらっしゃいました。

CAD メインの授業で、PC 実習は、受講生のモチベーションが気になりましたが、受講された方は皆様大変熱心に学習され、学び直し（リカレント）が達成できたと思います。

コロナ禍での対面授業でしたが、受講生の皆様も、コロナ対策をしっかりしていただき、無事終えることができ、ほっとしました。

【CAD 系科目担当講師 串田講師コメント】

CAD 概論（12 時間）、CAD システム（2次元CAD）とCAD実習（3次元CAD）（30 時間）で限られた時間でしたので、練習図面に対応して、必要な操作のみご紹介しました。

受講生はCADソフトが「しっかり使えるようになる」との思いをお持ちのようで

した。残念ながら、CADの入り口に少しばかり踏みこんだぐらいなのです。とお伝えしました。

CAD概論では、しっかりノートを作成していただくために、受講生には空欄部分をつくった、資料をお渡ししました。沢山書込んでいただきました。

CADの実技では、練習問題に操作方法を記入していただきながら進みました。講座の目標は、『3Dプリンターで制作物を作成する』ことに、「作成できるかな？」という不安も多くあったようです。質問を伺いながら出来るだけ簡単な操作で作成するお手伝いをしました。

今回の受講生は、まったくCADを知らない方々でしたが、授業が進むにつれ、興味を持っていただいたようです。3Dプリンターの印刷時には感動や驚きがあり、プリンターを覗き込んだり、作成物の写真を撮影されていました。

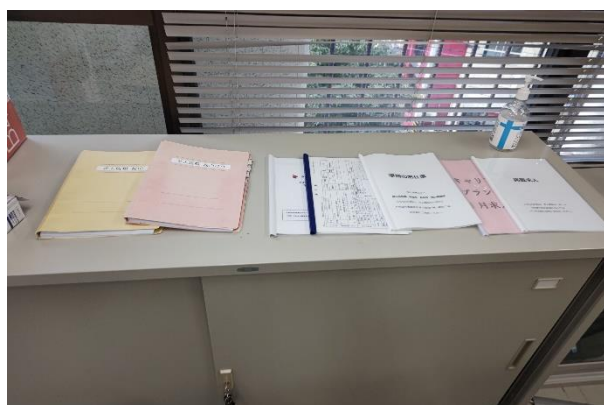
受講生の中には、「CADのスクールを探して悩んでいた」「今回の講座の内容をふまえ、さらに自主勉強をし、基礎の資格を取ってみたい」などの声も聞こえました。授業ではCADの機能をほんの一部しか、紹介出来ませんでした。興味を持って前向きに勉強したいと講座のない日も通われて練習していた方もいらっしゃいました。

時間の調整をしながら、前向きに講座に参加して下さったみなさんに、感謝しながら、とてもやりがいのある時間でした。

2.2.4 合同講座能力証明評価シート

能力証明（成果・実務成果）シート						
リカレント合同講座	文部科学省事業	リスタートプログラム製造リカレント講座				
			訓練受講者氏名			
上記の者の訓練期間における合同講座受講についての評価は、以下のとおりです。						
	令和4年1月29日		所在地 広島県福山市東町2-3-6			
			名称 学校法人穴吹学園 穴吹カレッジキャリアアップスクール			
			事業責任者氏名 信岡 誠三	印		
I 訓練期間・訓練目標						
訓練期間	訓練時間	訓練目標（仕上がり値）				
2021年10月23日～ 2022年1月29日	75	IT基礎力に加え、モノづくりに関するCAD・3Dプリンタを学び直し、スキルアップした人材養成する。				
II 知識、技能・技術に関する能力（「知識、技能・技術に関する評価項目」ごとに、該当する欄に○を記入）						
(1) 科目評価						
A: 到達水準を十分に上回った B: 到達水準に達した C: 到達水準に達しなかった（評価は、試験結果等に基づき記入されたものです）						
科目名	評価			知識、技能・技術に関する評価項目	コード	
	A	B	C			
学 科	情報リテラシー			(1) 最新の動向を知っている (2) ネットワークの設計ができる (3) HTMLページの構築ができる	G39#011222 G39#011222 G39#011232	
	CAD概論			(1) CADシステムの構成を知っている (2) 基本操作の処理の流れを知っている (3) CADシステムの概略を知っている (4) 2次元設計と3次元設計の相違を知っている	E18#010821 E18#010832 E18#011001 E18#010832	
	ビジネス コミュニケーション (通信)			(1) 挨拶・笑顔・お辞儀・言葉遣いの基本動作ができる (2) 適切な態度や言葉遣い、姿勢で依頼や折衝ができる (3) 相手の心情に配慮し、適切な態度や言葉遣い、姿勢で依頼や折衝ができる (4) 状況に応じた適切な敬語の使い分けができる	KM202002 KM202002 KM202002 JC	
	CADシステム			(1) 原点の作成ができる (2) 各種（削込み、補助線等）処理ができる (3) 図形要素（種分、円と円弧等）の作成と編集ができる (4) CAD操作ができる (5) CADデータの番付保管ができる	E26#010751 E26#010842 E18#010862 E18#010862	
実 技	2次元CAD実習			(1) 指示により簡単な部品の作図ができる (2) トレースができる (3) 機械図面を書くことができる (4) 加工部品の要求機能を理解できる (5) 2次元図面より立体形状を構想できる (6) 立体形状より投影図を作成できる	E18#010821 E18#010821 E26#010842 E26#010842 E26#010842 E26#010842	
	3次元CAD実習			(1) 面状への投影、相貫線、隠線の作成ができる (2) 3次元面の作成ができる (3) 3次元モデリングができる (4) 3次元形状モデルを3Dプリンタで印刷が出来る	E18#010832 E18#010832 E18#010832 自社作成	
	PCスキルⅠ・Ⅱ・Ⅲ				(1) 文書の書式を設定できる（用紙サイズ、文字数と行数、余白、ヘッダー・フッター）	引用元1
					(2) 表を作成できる（罫線、表の書式設定（塗りつぶしの色、線種・幅付け、セル内文字配置））	引用元1
					(3) 文字の書式を設定できる（フォントサイズ、太字、斜体、色指定、均等割付、文字飾り）	引用元1
					(4) 段落の書式を設定できる（センタリング・右寄せ・左寄せ、インデント）	引用元1
					(5) 印刷の形式を設定できる（横書き印刷、差し込み印刷）	引用元1
					(6) ファイル操作・管理ができる（新規作成・読み込み、保存、パスワード設定）	引用元1
					(7) 図形の編集ができる（拡大、縮小、変形と回転、図形・線の色、図形の重ね順序、グループ化）	引用元1
					(8) 書式通りにビジネス文書（送付状、申請資料）を作成できる	G39#010041
(9) オープンソフトの様々な機能を活用し、レイアウト構成にも配慮した文書（送付状、申請資料）が作成できる					00002L11	
(10) ワークシートへ入力できる（データ（数値・文字列）、連続データ、計算式、基本的な関数）					引用元1	
				(11) ワークシートの設定ができる（表示形式、フォント設定、データ（数値・文字列）の配置、罫線設定、塗りつぶし、サイズ調整、条件付き書式）	引用元1	
				(12) ワークシートを編集できる（データ・式の編集・消去、データ・式の複写・移動、セル・行・列の挿入・削除）	引用元1	
				(13) ブック管理ができる（ワークシートの操作・表示、パスワード設定）	引用元1	
				(14) グラフを作成できる（円グラフの作成、移動・サイズ変更、棒グラフの作成、グラフ要素の書式設定等）	引用元1	
				(15) ページレイアウトを設定できる（拡大/縮小、余白、ヘッダー・フッター、印刷範囲、印刷タイトル）	引用元1	
				(16)	引用元1	
評価項目の引用元（企業横断的な評価基準を活用した場合のみ）：						
【引用元1】 中央職業能力開発協会 コンピュータサービス技能評価試験問題概要						
(総評・コメント)						
(特記事項)						
(2) 受講を通じて取得した資格（任意）						
	取得日	年	月	日		
(3) 受講期間中又は受講終了後に取得した資格（任意）						
	取得日	年	月	日		
(注意事項)						
1 「コード」欄には、「知識、技能・技術に関する評価項目」の出典にコード又は職業能力評価基準のユニット番号等がある場合に記入してください。 2 記入しきれないときは、適宜枠の数を増やす等により記入してください。 3 本シートは、電子的方式、磁気的方式その他の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをもって作成することができます。						

2.2.5 受講風景写真



3 2021年度合同講座実施科目シラバス・コマシラバス (教育プログラム)

3.1 シラバス・コマシラバス

情報リテラシー I / II シラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
情報リテラシー I・II			前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
60分	12回	12時間	必須	穂垣 葉子
授業の概要				
コンピュータシステム、ネットワーク技術、情報の基礎理論、情報化社会、情報セキュリティなどを学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
CAD検定2級相当の知識を得る。				
回	テーマ	内容		
1	データの単位	デジタル・アナログの違い。補助単位。ビット・バイト。文字コード		
2	基数	基数とは。基数変換。		
3	基本ソフト (OSの管理)	ファイル管理。ファイルの種類。ソフトウェアの種類。OSの基本操作。		
4	HTML言語	HTML・CSS・画像の種類		
5	ハードウェア	CPU・主記憶装置・補助記憶装置		
6	ハードウェア	入力装置・出力装置・インタフェース		
7	ネットワーク	ネットワークの分類や種類・LANの規格・Wi-Fi		
8	インターネット	回線の種類・ドメイン・インターネットのサービス・IPアドレス		
9	情報モラルと情報セキュリティ	知的財産権と著作権・情報モラルと法制度		
10	情報モラルと情報セキュリティ	ネットワークセキュリティ・コンピュータセキュリティ		
11	Web会議ツール	ZOOM体験		
12	クラウドコンピューティング	Googleを利用してメール・ドライブ・ファイルの共有体験 ファイルの圧縮・解凍		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
情報リテラシー (情報の基礎理論) 情報リテラシー (ネットワーク技術・情報セキュリティ)		出席率	10%	
		授業態度・確認テスト	30%	
		期末試験 (検定)	60%	

情報リテラシー I / II シラバス

情報リテラシー I / II コマシラバス

コ マ シ ラ バ ス		
【科目名】 情報リテラシー I・II (60分授業)		第 1 回 (全 12 回)
【学科 または コース名】 学び直し合同講座	(学 年)	(担当教員) 穂垣 葉子
【今日のテーマ】 動機づけ(目的・目標・評価、授業の進め方、検定について) 情報の基礎		
【今日の目標】 情報の単位について学び、コンピュータのしくみを知る。 文字コードについて理解し、その種類と概要を覚える		
【今日の学習内容】 情報とは 情報の特性 コンピュータにおける情報の表現 デジタルとアナログ 情報の単位 基数表現と数値の変換 文字コード 補助単位	【今日の重要用語・キーワード】 8ビット=1バイト $2^8 = 256$ 補助単位 K M G T m μ n p JISコード ASCIIコード シフトJISコード Unicode	
【“今日の学習内容”の記載箇所】 情報リテラシー(情報の基礎理論)テキスト P.1-3		
【授業に参加する学生へのアドバイス】 情報の基礎の単位について知ることで、コンピュータのしくみを知る。		

コ マ シ ラ バ ス		
【科目名】 情報リテラシーⅠ・Ⅱ (60分授業)		第2回(全12回)
【学科またはコース名】 学び直し合同講座	(学年)	(担当教員) 穂垣 葉子
【今日のテーマ】 情報の基礎・基数について		
【今日の目標】 基数表現を理解し、変換ができるようになる		
【今日の学習内容】 基数表現を理解し、変換ができるようになる	【今日の重要用語・キーワード】 基数とは、各桁の重みの基準になる数 コンピュータの中では、2進数 人は10進数を使う。 また2進数をまとめるのに便利なのが、16進数。	
【“今日の学習内容”の記載箇所】 情報リテラシー(情報の基礎理論)テキスト P.4-5		
【授業に参加する学生へのアドバイス】 基数変換を自由にできるようになりましょう。		

コ マ シ ラ バ ス		
【科目名】 情報リテラシーⅠ・Ⅱ (60分授業)		第3回(全12回)
【学科またはコース名】 学び直し合同講座	(学年)	(担当教員) 穂垣葉子
【今日のテーマ】 基本ソフト(OS)		
【今日の目標】 基本ソフト(OS)の種類や働きを知る。 ファイル管理(ディレクトリ管理)を学ぶ。 OS(Windows)の基本操作を実習する。		
【今日の学習内容】 OS(Windows)の基本操作を実習する。 ファイル管理でファイルの指定方法を学ぶ ファイルの種類(拡張子) OSの種類を知る。	【今日の重要用語・キーワード】 ドライブ・フォルダ ファイル 絶対パス・相対パス 拡張子 Windows UNIX LINUX Mac-OS	
【“今日の学習内容”の記載箇所】 情報リテラシー(情報の基礎理論)P.6-9		
【授業に参加する学生へのアドバイス】 Windowsを使った操作では、ファイルの管理が必要です。ファイルの種類や、パスの指定などを学びます。		

コ マ シ ラ バ ス		
【科目名】 情報リテラシーⅠ・Ⅱ (60分授業)		第4回(全12回)
【学科またはコース名】 学び直し合同講座	【学年】	【担当教員】 穂垣 葉子
【今日のテーマ】 HTML言語		
【今日の目標】 HTML言語・CSS言語を学ぶ		
【今日の学習内容】 HTML CSS ファイルの指定(絶対パス・相対パス) メモ帳で入力し、ブラウザでHPを表示する。	【今日の重要用語・キーワード】 HTML CSS IMG A HREF	
【“今日の学習内容”の記載箇所】 情報リテラシー(情報の基礎理論)P.10-18		
【授業に参加する学生へのアドバイス】 ホームページを作成するために、メモ帳で入力し、HTML言語のしくみを知りましょう。		

コ マ シ ラ バ ス		
【科目名】 情報リテラシーⅠ・Ⅱ (60分授業)		第5回(全12回)
【学科またはコース名】 学び直し合同講座	(学年)	(担当教員) 穂垣 葉子
【今日のテーマ】 ハードウェア(CPU・主記憶装置・補助記憶装置)		
【今日の目標】 ハードウェア(CPU・主記憶装置・補助記憶装置)について、学ぶ。		
【今日の学習内容】 CPUの性能や処理能力 主記憶装置 メインメモリ・キャッシュメモリ 補助記憶装置	【今日の重要用語・キーワード】 クロック周波数(ヘルツ) ROM・RAM メインメモリ・キャッシュメモリ ハードディスク フラッシュメモリ CDドライブ・DVDドライブ	
【“今日の学習内容”の記載箇所】 情報リテラシー(情報の基礎理論)P.19-22		
【授業に参加する学生へのアドバイス】 パソコンの各装置について知ることで、性能を知ることができます。		

コ マ シ ラ バ ス		
【科目名】 情報リテラシーⅠ・Ⅱ (60分授業)		第6回(全12回)
【学科またはコース名】 学び直し合同講座	【学年】	【担当教員】 穂垣 葉子
【今日のテーマ】 ハードウェア(入出力装置・インタフェース)		
【今日の目標】 ハードウェア(入出力装置・インタフェース)について学ぶ		
【今日の学習内容】 キーボード ポインティングデバイス ディスプレイ(解像度・色) プリンタ(インクジェットプリンタ・レーザープリンタ) プリンタ(解像度・インクの色) インタフェース USBの種類	【今日の重要用語・キーワード】 RGB CMYK IrDA・Bluetooth SATA USB3.1	
【“今日の学習内容”の記載箇所】 情報リテラシー(情報の基礎理論)P.23-28		
【授業に参加する学生へのアドバイス】 周辺装置の種類や特徴を理解しましょう。		

コ マ シ ラ バ ス		
【科目名】 情報リテラシーⅠ・Ⅱ (60分授業)		第7回(全12回)
【学科またはコース名】 学び直し合同講座	(学年)	(担当教員) 穂垣 葉子
【今日のテーマ】 ネットワーク		
【今日の目標】 ネットワークの分類や種類 LANの規格(イーサネット) 無線LAN(Wi-Fi)		
【今日の学習内容】 ネットワーク規模による分類 ネットワーク用語 処理形態による分類 LANの接続形態 LANに必要な機器 無線LAN(Wi-Fi)	【今日の重要用語・キーワード】 LAN ISP IX LAN・WAN・インターネット・イントラネット イーサネット Wi-Fi (IEEE802.11gなど) SSID 暗号キー(WPA2など)	
【“今日の学習内容”の記載箇所】 情報リテラシー(ネットワーク技術・情報セキュリティ) P.1-8		
【授業に参加する学生へのアドバイス】 社会のどこでも使われているネットワークの基礎知識を学習します。		

コ マ シ ラ バ ス		
【科目名】 情報リテラシーⅠ・Ⅱ (60分授業)		第8回(全12回)
【学科またはコース名】 学び直し合同講座	【学年】	【担当教員】 穂垣 葉子
【今日のテーマ】 インターネット		
【今日の目標】 インターネット回線の種類 ドメイン インターネットのサービス IPアドレス		
【今日の学習内容】 接続回線の種類 ドメイン IPアドレス プロトコル インターネットの用語 電子メール ウェルノーンポート	【今日の重要用語・キーワード】 ADSL・FTTH TCP/IP ドメイン DNS FTP・HTTP・SMTP・POP3など IPアドレス(グローバルIPアドレス・プライベートIPアドレス) サブネットマスク	
【“今日の学習内容”の記載箇所】 情報リテラシー(ネットワーク技術・情報セキュリティ)P.5、9-14		
【授業に参加する学生へのアドバイス】 インターネットの基礎知識としくみを知りましょう。		

コ マ シ ラ バ ス		
【科目名】 情報リテラシーⅠ・Ⅱ (60分授業)		第9回(全12回)
【学科またはコース名】 学び直し合同講座	(学年)	(担当教員) 穂垣 葉子
【今日のテーマ】 情報モラルと情報セキュリティ		
【今日の目標】 情報モラルと法制度 知的財産権と著作権 ソフトウェアの種類と使用許諾		
【今日の学習内容】 個人情報保護法 迷惑メール防止法 不正アクセス禁止法 プロバイダ責任制限法 著作権 産業財産権	【今日の重要用語・キーワード】 著作者人格権 著作者財産権 著作隣接権 商標権 特許権 実用新案権 意匠権 フリーソフト シェアウェア サブスクリプション契約	
【“今日の学習内容”の記載箇所】 情報リテラシー(ネットワーク技術・情報セキュリティ)P.19-24		
【授業に参加する学生へのアドバイス】 コンピュータやネットワークを利用する上での情報モラルやセキュリティを学習する。		

コ マ シ ラ バ ス		
【科目名】 情報リテラシーⅠ・Ⅱ (60分授業)		第10回(全12回)
【学科またはコース名】 学び直し合同講座	【学年】	【担当教員】 穂垣 葉子
【今日のテーマ】 情報モラルと情報セキュリティ		
【今日の目標】 ネットワークセキュリティ・コンピュータセキュリティ		
【今日の学習内容】 インターネットのセキュリティ コンピュータウイルス サーバー攻撃 SSL ワンタイムパスワード	【今日の重要用語・キーワード】 ファイアーウォール ウィルス対策ソフト 暗号 セキュリティパッチ SSL ワンタイムパスワード(時刻同期方式) ワンタイムパスワード(チャレンジ・レスポンス方式)	
【“今日の学習内容”の記載箇所】 情報リテラシー(ネットワーク技術・情報セキュリティ)P.14-19		
【授業に参加する学生へのアドバイス】 ネットワークなどを利用時の脅威などを知り、セキュリティ対策をする。		

コ マ シ ラ バ ス		
【科目名】 情報リテラシーⅠ・Ⅱ (60分授業)		第11回(全12回)
【学科またはコース名】 学び直し合同講座	(学年)	(担当教員) 穂垣 葉子
【今日のテーマ】 Web会議ツール		
【今日の目標】 ZOOMを利用しミーティングを体験する		
【今日の学習内容】 ZOOMでミーティングを開催 機能を体験する	【今日の重要用語・キーワード】 サインイン ビデオの開始方法 リアクション レコーディング 画面の共有 ホワイトボード チャット セキュリティ バーチャル背景	
【“今日の学習内容”の記載箇所】 情報リテラシー(ネットワーク技術・情報セキュリティ)P.24-28		
【授業に参加する学生へのアドバイス】 テレワークやオンライン授業など利用機会の増えているWeb会議ツールを体験してみましょう。		

コ マ シ ラ バ ス		
【科目名】 情報リテラシーⅠ・Ⅱ (60分授業)		第12回(全12回)
【学科またはコース名】 学び直し合同講座	【学年】	【担当教員】 穂垣 葉子
【今日のテーマ】 クラウドコンピューティング		
【今日の目標】 Googleを利用してメール・ドライブ・ファイルの共有体験 ファイルの圧縮・解凍		
【今日の学習内容】 クラウドコンピューティング Googleメール Googleドライブ ファイルの共有 ファイルの圧縮・解凍	【今日の重要用語・キーワード】 ZIP アップロード ダウンロード クラウド	
【“今日の学習内容”の記載箇所】 情報リテラシー(ネットワーク技術・情報セキュリティ)P.28-31		
【授業に参加する学生へのアドバイス】 クラウドコンピューティングは、テレワークやオンライン授業に役立ちます。パソコンでの利用方法を体験しましょう。		

情報リテラシーⅠ/Ⅱコマシラバス

PCスキルⅠシラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
PCスキルⅠ		ものづくりIT	2021年度	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
60分	6回	(6時間)	必須	島田知世子
授業の概要				
学生時代や職場で活用しているWordの学び直し<リカレント>をし、ビジネス資料作成の生産性向上を目指す。				
授業終了時の到達目標				
Wordを活用し、表を含むビジネス文書(ご案内・議事録など)を効率よく作成できるようになる。				
回	テーマ	内容		
1	Word 基本操作	範囲選択・文字書式・段落書式		
2	Word 新規文書作成	ページ設定・挿入と削除・移動とコピー		
3	Word 文書編集	ビジネス文書レイアウト・均等割付・インデント・タブ		
4	Word 表作成	表挿入・表のサイズ変更・列幅変更・行高変更		
5	Word 表編集	セル結合・セル内文字配置・塗りつぶし・線種の変更		
6	Word&Excel 差込印刷	差込印刷・宛名ラベル		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
パワーポイント(説明用) 講師作成レジュメWord 講師作成レジュメ差込印刷		出席率 課題 授業態度		

PCスキルⅠシラバス

PCスキル I コマシラバス

コ マ シ ラ バ ス		
【科目名】 PCスキル I (60 分授業)		第 1 回 (全 6 回)
【学 科 または コース名】 学び直し合同講座	【学 年】 ものづくりIT	【担当教員】 島田知世子
【今日のテーマ】 Word 基本操作		
【今日の目標】 ・Word 文字単位と段落単位の違いを理解する。 ・正しく選択し、適切な機能を活用できるようになる。		
【今日の学習内容】 ・範囲選択 ・文字書式 (フォント・サイズ・太字・斜体・下線・フォントの色など) ・段落書式 (中央揃え・右揃え・インデントを増やすなど)	【今日の重要用語・キーワード】 ・編集記号の表示/非表示 ・明朝体とゴシック体の違い ・等幅体とプロポーションナル体の違い ・MS明朝と游明朝の違い ・左揃え 中央揃え 右揃え 両端揃え	
【”今日の学習内容”の記載箇所】 講師作成レジュメWord p.1～p.3		
【授業に参加する受講生へのアドバイス】 ・フォントの違いを理解して、正しい種類を選択できるようになりましょう。 ・編集記号を表示して、編集するようにしましょう。		

コ マ シ ラ バ ス		
【科目名】 PCスキル I (60分授業)		第 2 回 (全 6 回)
【学 科 または コース名】 学び直し合同講座	(学 年) ものづくりIT	(担当教員) 島田知世子
【今日のテーマ】 Word 新規文書作成		
【今日の目標】 ・ビジネス文書のレイアウトを理解する。 ・効率よくビジネス文書が作成できるようになる。		
【今日の学習内容】 ・移動とコピー ・ページ設定 ・ビジネス文書レイアウト (右揃え・中央揃えなど)	【今日の重要用語・キーワード】 ・切り取り→貼り付け ・コピー→貼り付け ・ドラッグアンドドロップ ・ショートカットキー ・用紙サイズ 用紙の向き 余白 ・ビジネス文書のレイアウト	
【“今日の学習内容”の記載箇所】 講師作成レジュメWord p.4～p.9		
【授業に参加する受講生へのアドバイス】 ・【日付と時刻の挿入】や【あいさつ文の挿入】を利用して、ビジネス文書を効率よく作成しましょう。 ・ショートカットキーを利用して、効率よく操作できるように心がけましょう。		

コ マ シ ラ バ ス		
【科目名】 PCスキル I		第 3 回 (全 6 回)
【学 科 または コース名】 学び直し合同講座		(学 年) ものづくりIT
(担当教員) 島田知世子		
【今日のテーマ】 Word ビジネス文書編集		
【今日の目標】 ・均等割付の文字単位と段落単位の違いを理解する。 ・インデントとタブの違いを理解し、正しく活用できるようになる。		
【今日の学習内容】 ・均等割付 ・インデント ・タブ		【今日の重要用語・キーワード】 ・1行目のインデント ぶら下げインデント ・左右インデント ・均等割付 ・タブとリーダー
【“今日の学習内容”の記載箇所】 講師作成レジュメWord p.10～p.13		
【授業に参加する受講生へのアドバイス】 ・インデントやタブを適切に活用できるように、空白との違いを理解しましょう。		

コ マ シ ラ バ ス		
【科目名】 PCスキル I (60 分授業)		第 4 回 (全 6 回)
【学 科 または コース名】 学び直し合同講座	(学 年) ものづくりIT	(担当教員) 島田知世子
【今日のテーマ】 Word 表作成		
【今日の目標】 ・読みやすい、わかりやすい表を作成できるようになる。		
【今日の学習内容】 ・表作成 (挿入・入力・表サイズ変更・列幅変更・行高変更)	【今日の重要用語・キーワード】 ・表 行 列 セル ・表のサイズ変更ハンドル ・表の移動ハンドル	
【“今日の学習内容”の記載箇所】 講師作成レジュメWord p.14～p.15		
【授業に参加する受講生へのアドバイス】 ・表の構造を理解しましょう。(行・列・セル) ・列幅変更をするとき、表全体の幅も変えたいのか変えたくないのかを考えましょう。		

コ マ シ ラ バ ス		
【科目名】 PCスキル I		第 5 回 (全 6 回)
【学 科 または コース名】 学び直し合同講座	(学 年) ものづくりIT	(担当教員) 島田知世子
【今日のテーマ】 Word 表編集		
【今日の目標】 ・読みやすい、わかりやすい表を作成できるようになる。 ・作成した表を、効率よく編集できるようになる。		
【今日の学習内容】 ・表編集 (セル結合・セル分割・セル内文字配置) (塗りつぶし・ペンのスタイル・ペンの太さなど)		【今日の重要用語・キーワード】 ・セル結合 ・セル分割 ・セル内均等割付(文字単位とセル単位の違い) ・線の種類や太さ
【“今日の学習内容”の記載箇所】 講師作成レジュメWord p.16～p.21		
【授業に参加する受講生へのアドバイス】 ・表ツールのデザインタブとレイアウトタブを、活用しましょう。 ・表全体の配置変更は、ホームタブから行いましょう。 ・セル内文字配置は、表ツールレイアウトタブを利用しましょう。 ・セル内均等割付と文字単位の均等割付の違いを理解しましょう。		

コ マ シ ラ バ ス		
[科目名] PCスキル I (60分授業)		第6回(全6回)
[学科またはコース名] 学び直し合同講座	(学年)	(担当教員) 島田知世子
[今日のテーマ] Word&Excel 差込印刷		
[今日の目標] ・案内状や挨拶状などに差込印刷を利用できるようになる。 ・宛名ラベルを作成できるようになる。		
[今日の学習内容] ・差込印刷 ・宛名ラベル作成	[今日の重要用語・キーワード] ・メイン文書とデータファイル ・差し込みフィールド ・結果のプレビュー ・宛名ラベル ・複数ラベルに反映	
[“今日の学習内容”の記載箇所] 講師作成レジюме差し込み印刷 p.1～p.5		
[授業に参加する受講生へのアドバイス] ・複数の方に同じ内容の案内やお知らせを送付するとき、差し込み印刷を利用しましょう。 ・宛名ラベルも差し込み印刷を利用しましょう。		

PC スキル I コマシラバス

PCスキルⅡシラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
PCスキルⅡ		ものづくりIT	2021年度	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
60分	12回	(12時間)	必須	島田知世子
授業の概要				
学生時代や職場で活用しているExcelの学び直し<リカレント>をし、ビジネス資料作成の生産性向上を目指す。				
授業終了時の到達目標				
Excelを活用し、ビジネスにおける売上表などを効率よく作成でき、目的に応じたグラフ作成ができるようになる。				
回	テーマ	内容		
1	Excel 基本	入力・オートフィル・四則演算		
2	Excel 表作成	範囲選択・書式設定・行列の編集		
3	Excel ワークシート 基本関数	ワークシート・基本関数		
4	Excel 相対参照と絶対参照	相対参照と絶対参照・条件付き書式		
5	Excel 棒グラフ	棒グラフ挿入・グラフ編集		
6	Excel 円グラフ	円グラフ挿入・グラフ編集		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
パワーポイント(説明用) 講師作成レジュメExcel		出席率		
		課題		
		授業態度		

PCスキルⅡシラバス

PC スキルⅡ コマシラバス

コ マ シ ラ バ ス		
【科目名】 PCスキルⅡ (60分授業)		第1回(全6回)
【学科またはコース名】 学び直し合同講座	【学年】 ものづくりIT	【担当教員】 島田知世子
【今日のテーマ】 Excel 基本操作		
【今日の目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・データの入力や修正が効率よくできるようになる。 ・オートフィルを利用して、効率よく入力できるようになる。 ・四則演算が入力できるようになる。 		
【今日の学習内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・入力 ・オートフィル ・四則演算 	【今日の重要用語・キーワード】 <ul style="list-style-type: none"> ・ブック ワークシート セル ・数式バー ・オートフィル ・演算記号 	
【“今日の学習内容”の記載箇所】 講師作成レジュメExcel p.1～p.5		
【授業に参加する受講生へのアドバイス】 <ul style="list-style-type: none"> ・マウスポインタの形に気を付けて、操作しましょう。 ・数式バーで確認するようにしましょう。 ・計算式の基本を理解しましょう。 ・オートフィルを利用して、効率よく入力しましょう。 		

コ マ シ ラ バ ス		
【科目名】 PCスキルⅡ (60分授業)		第2回(全6回)
【学科またはコース名】 学び直し合同講座	【学年】 ものづくりIT	【担当教員】 島田知世子
【今日のテーマ】 Excel 表作成		
【今日の目標】 ・読みやすい、わかりやすい表が作成できる。 ・データと書式設定で、セル表示されていることを理解する。		
【今日の学習内容】 ・範囲選択 ・書式設定 (フォント・配置・表示形式) ・行列の編集 (列幅変更・行高変更・挿入・削除)	【今日の重要用語・キーワード】 ・行列セル ・フォント ・配置 ・桁区切りスタイル ・パーセントスタイル ・通貨表示形式	
【“今日の学習内容”の記載箇所】 講師作成レジュメExcel p.6～p.10		
【授業に参加する受講生へのアドバイス】 ・セル表示は、データと書式設定で成り立っていることを理解しましょう。 (データだけをクリアしたいのか、書式だけをクリアしたいのか、すべてクリアしたいのかなど) (データだけをコピーしたいのか、書式だけをコピーしたいのか、すべてコピーしたいのかなど)		

コ マ シ ラ バ ス		
【科目名】 PCスキルⅡ (60分授業)		第3回(全6回)
【学科またはコース名】 学び直し合同講座	【学年】 ものづくりIT	【担当教員】 島田知世子
【今日のテーマ】 Excel ワークシート 基本関数		
【今日の目標】 ・ワークシートの管理ができるようになる。 ・基本関数が入力できるようになる。		
【今日の学習内容】 ・ワークシート (挿入・削除・移動・コピー・名前の変更など) ・基本関数 (合計・平均・最大値・最小値・数値の個数)	【今日の重要用語・キーワード】 ・ワークシート ・SUM関数 ・AVERAGE関数 ・MAX関数 ・MIN関数 ・COUNT関数	
【“今日の学習内容”の記載箇所】 講師作成レジュメExcel p.11～p.17		
【授業に参加する受講生へのアドバイス】 ・関数の公式を覚えましょう。 =関数名(引数1,引数2,……) ・ワークシートの移動やコピーは、ドラッグアンドドロップを利用しましょう。 ・セル内で改行するときは、Alt+Enter になります。		

コ マ シ ラ バ ス		
【科目名】 PCスキルⅡ (60分授業)		第4回(全6回)
【学科またはコース名】 学び直し合同講座	【学年】 ものづくりIT	【担当教員】 島田知世子
【今日のテーマ】 Excel 相対参照と絶対参照 条件付き書式		
【今日の目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・相対参照と絶対参照の違いを理解する。 ・条件付き書式を理解する。 		
【今日の学習内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・相対参照 ・絶対参照 ・条件付き書式 	【今日の重要用語・キーワード】 <ul style="list-style-type: none"> ・相対参照 ・絶対参照 \$の入力 F4 ・条件付き書式 	
【“今日の学習内容”の記載箇所】 講師作成レジュメExcel p.18～p.20		
【授業に参加する受講生へのアドバイス】 <ul style="list-style-type: none"> ・相対参照と絶対参照の違いを理解しましょう。 ・「\$」は、「F4」を使いましょう。 		

コ マ シ ラ バ ス		
[科目名] PCスキルⅡ (60分授業)		第5回(全6回)
[学科またはコース名] 学び直し合同講座	(学年) ものづくりIT	(担当教員) 島田知世子
[今日のテーマ] Excel 棒グラフ		
[今日の目標] ・棒グラフの作成・編集ができるようになる。 ・内容に応じたグラフの種類を選択できるようになる。		
[今日の学習内容] ・棒グラフ作成 (挿入・移動・サイズ変更)	[今日の重要用語・キーワード] ・棒グラフ ・グラフのサイズ変更 ・グラフの移動 ・グラフタイトル ・項目軸と値軸 ・軸ラベル ・凡例	
[“今日の学習内容”の記載箇所] 講師作成レジュメExcel p.20～p.23		
[授業に参加する受講生へのアドバイス] ・棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフなどの基本グラフの特徴を理解しましょう。 ・表のどの部分をグラフ化したいのか、範囲選択に気を付けましょう。 ・グラフツールのデザインタブを活用しましょう。		

コ マ シ ラ バ ス		
【科目名】 PCスキルⅡ (60分授業)		第6回(全6回)
【学科またはコース名】 学び直し合同講座	【学年】 ものづくりIT	【担当教員】 島田知世子
【今日のテーマ】 Excel 円グラフ		
【今日の目標】 ・円グラフの作成や編集ができるようになる。		
【今日の学習内容】 ・円グラフ作成・編集 タイトルの変更・要素の追加・レイアウト・スタイルなど ・切り離し円	【今日の重要用語・キーワード】 ・円グラフ ・グラフ要素の追加 ・グラフレイアウト ・グラフスタイル ・切り離し円	
【“今日の学習内容”の記載箇所】 講師作成レジュメExcel p.24～p.27		
【授業に参加する受講生へのアドバイス】 ・表のどの部分をグラフ化したいのか、範囲選択に気を付けましょう。 ・切り離し円の時、選択に気を付けましょう。		

PCスキルⅡコマシラバス

PC スキルⅢシラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
PCスキルⅢ		ものづくりIT	2021年度	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
60分	6回	(6時間)	必須	島田知世子
授業の概要				
<p>学生時代や職場で活用しているExcelやPower Pointの学び直し<リカレント>をし、ビジネス資料作成の生産性向上を目指す。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>Power Pointを活用し、わかりやすいプレゼンテーションが効率よく作成できるようになる。 Excelを活用し、データ分析ができるようになる。</p>				
回	テーマ	内容		
1	Power Point スライド作成	スライド作成・箇条書き		
2	Power Point スライド編集	表・図形・画像・SmartArtグラフィック		
3	Power Point 特殊効果	スライドマスター・画面切り替え・アニメーション		
4	Power Point スライドショー	オートデモ・ビデオ・掲示物作成		
5	Excel データベース	テーブル・並べ替え・フィルター		
6	Excel ピボットテーブル	ピボットテーブル・フラッシュフィル		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
パワーポイント(説明用) 講師作成レジュメPower Point 講師作成レジュメExcelデータベース		出席率 課題 授業態度		

PC スキルⅢシラバス

PC スキルⅢコマシラバス

コ マ シ ラ バ ス		
【科目名】 PCスキルⅢ (60分授業)		第1回(全6回)
【学科またはコース名】 学び直し合同講座	【学年】 ものづくりIT	【担当教員】 島田知世子
【今日のテーマ】 Power Point スライド作成		
【今日の目標】 ・Power Point スライド作成・編集ができるようになる。 ・箇条書きのレベル変更ができるようになる。		
【今日の学習内容】 ・新規作成 ・テーマ ・スライドの挿入 ・箇条書き	【今日の重要用語・キーワード】 ・スライドのサイズ ・プレースホルダー ・スライドの挿入 ・箇条書きのレベル変更	
【“今日の学習内容”の記載箇所】 講師作成レジュメPower Point p.1～p.4		
【授業に参加する受講生へのアドバイス】 ・Power Pointは、文章を読んでもらうのではなく、視覚的にパッと見て理解してもらえるよう作成しましょう。 ・箇条書きの階層化(レベル上げ下げ)を活用しましょう。 ・段落内改行は、Shift+Enter です。もちろんWordでも同様です。		

コ マ シ ラ バ ス		
[科目名] PCスキルⅢ (60分授業)		第2回(全6回)
[学科またはコース名] 学び直し合同講座	(学年) ものづくりIT	(担当教員) 島田知世子
[今日のテーマ] Power Point スライド編集		
[今日の目標] ・表・画像・図形などの特徴を理解し、活用できるようになる。 ・SmartArtグラフィックを活用できるようになる。		
[今日の学習内容] ・表 ・画像 ・図形 ・SmartArtグラフィック	[今日の重要用語・キーワード] ・サイズ変更ハンドル ・調整ハンドル ・回転ハンドル ・SmartArtグラフィック ・テキストウィンドウ	
[“今日の学習内容”の記載箇所] 講師作成レジュメPower Point p.5～p.12		
[授業に参加する受講生へのアドバイス] ・画像の著作権には、十分注意を払いましょう。 ・数多くあるSmartArtグラフィックを上手に活用しましょう。 長い文章で説明するのではなく、図解を利用して、伝えたいことをイメージで把握できるようにしましょう。		

コ マ シ ラ バ ス		
【科目名】 PCスキルⅢ (60分授業)		第3回(全6回)
【学科またはコース名】 学び直し合同講座	【学年】 ものづくりIT	【担当教員】 島田知世子
【今日のテーマ】 Power Point 特殊効果		
【今日の目標】 ・スライドマスターを利用すると、何ができるのか理解する。 ・画面切替やアニメーションを適切に活用できるようになる。		
【今日の学習内容】 ・ヘッダーとフッター ・スライドマスター ・画面切替 ・アニメーション ・スライドショーの実行	【今日の重要用語・キーワード】 ・スライド番号 ・スライドマスター ・画面切替 ・アニメーション (開始・強調・終了・軌跡)	
【“今日の学習内容”の記載箇所】 講師作成レジュメPower Point p.13～p.15		
【授業に参加する受講生へのアドバイス】 ・画面切替やアニメーションは、むやみにすると逆効果になる場合があります。 上手に活用しましょう。 ・すべてのスライドで共通して、フォントサイズや行頭文字を変更したいときは、スライドマスターを利用しましょう。		

コ マ シ ラ バ ス		
[科目名] PCスキルⅢ (60分授業)		第4回(全6回)
[学科またはコース名] 学び直し合同講座	(学年) ものづくりIT	(担当教員) 島田知世子
[今日のテーマ] Power Point スライドショー		
[今日の目標] ・作成編集したファイルをスライドショー・オートデモ・ビデオ保存など活用できるようになる。		
[今日の学習内容] ・スライドショーの実行 ・自動プレゼンテーション ・ビデオ保存 ・復習問題	[今日の重要用語・キーワード] ・自動プレゼンテーション ・ビデオとして保存	
[“今日の学習内容”の記載箇所] 講師作成レジュメPower Point p.16～p.21		
[授業に参加する受講生へのアドバイス] ・自動プレゼンテーションにすると、店頭などでオートデモとして活用できます。 ・ビデオとして保存すると、Power Pointアプリケーションがなくても、動画として活用できます。 ・Power Pointアプリケーションでは、掲示物を作成するときにも、活用できます。 その場合は、最初にスライドのサイズをA4用紙に設定しておきましょう。		

コ マ シ ラ バ ス		
【科目名】 PCスキルⅢ (60分授業)		第5回(全6回)
【学科またはコース名】 学び直し合同講座	【学年】 ものづくりIT	【担当教員】 島田知世子
【今日のテーマ】 Excel データベース		
【今日の目標】 ・Excelの大量のデータを、テーブルや並べ替えやフィルターを利用して、分析できるようになる。		
【今日の学習内容】 ・テーブルへの変換 ・並べ替え (一つの基準と複数の基準) ・フィルター (抽出と条件のクリア)	【今日の重要用語・キーワード】 ・テーブル ・集計行 ・昇順と降順 ・数値フィルター ・テキストフィルター ・日付フィルター	
【今日の学習内容”の記載箇所】 講師作成レジュメExcelデータベース p.1～p.5		
【授業に参加する受講生へのアドバイス】 ・データベース用の表の注意事項を確認しましょう。 ・テーブルを利用して、書式設定やデータ管理をより効率よくしましょう。		

コ マ シ ラ バ ス		
【科目名】 PCスキルⅢ (60分授業)		第6回(全6回)
【学科またはコース名】 学び直し合同講座	【学年】 ものづくりIT	【担当教員】 島田知世子
【今日のテーマ】 Excel ピボットテーブル・フラッシュフィル		
【今日の目標】 ・ピボットテーブルを活用して、様々な角度から大量のデータを分析できるようになる。 ・フラッシュフィルを活用して、効率よくデータを扱うことができるようになる。		
【今日の学習内容】 ・ピボットテーブル (作成・編集・書式設定・更新) ・フラッシュフィル	【今日の重要用語・キーワード】 ・ピボットテーブル ・データの更新 ・フラッシュフィル	
【“今日の学習内容”の記載箇所】 講師作成レジュメExcelデータベース p.6～p.13		
【授業に参加する受講生へのアドバイス】 ・表の項目をドラッグするだけで、ピボットテーブルを作成することができます。 大量のデータを集計したり分析したりするのに役立てましょう。		

PCスキルⅢコマシラバス

CAD 概論シラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
CAD概論				講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
60分	12回	(12時間)	必須	串田由華
授業の概要				
CADシステムの概要と機能、作図データ、CADシステムの運用・管理、・3次元CADの基礎知識、図形の基礎、立体図形の名称と特徴				
授業終了時の到達目標				
「図形の基礎」を学習しAutoCADでの作図作業を効率よくする 「CADシステムの運用」を学習し、実務に必要な操作を理解する				
回	テーマ	内容		
1	CADの種類と特徴 CADシステムとは	・各分野でのCADの特徴 ・システム構成		
2	CADソフト 基本的な機能 図面作図の方法	・CADの機能、作図に必要な構成		
3	3次元CADの立体形状の表示種類 データの変換	・立体形状の名称、CADデータの保存の意味		
4	データの変換 CADの中間ファイル	・CADの種類により、データを自由に受渡しするファイル		
5	図形の基礎と性質 立体図形の名称と特徴	・図形を描くための名称、性質 ・立体図形の各部名称		
6	3Dプリンター 制作物	・講座の最終日に3Dプリンターで印刷するための準備		
7	製図の基準 製図一般基礎	・JIS規格に基づく基準 一般的な知識		
8	製図の線画 投影法	・JIS規格に基づく 線の作図方法 図面の作図方法		
9	投影法の種類 1	・補助投影図、局部投影図		
10	投影法の種類 2	・断面図、省略図示法		
11	投影法の種類 3 寸法記入	・特殊図示法、寸法記入の構成		
12	寸法補助記号 寸法の基本要素	・寸法記入に必要なJISの規格、寸法の種類		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他

CAD 概論シラバス

コ マ シ ラ バ ス					
[科目名]				第 3 回 (全 12 回)	
CAD概論		(60 分授業)			
[学 科 または コース名]		(学 年)		(担当教員)	
学び直し合同講座				串田由華	
[今日のテーマ]					
3次元CADの立体形状の表示種類 データの変換					
[今日の目標]					
3次元CADの立体形状の表示種類 データの変換					
[今日の学習内容]			[今日の重要用語・キーワード]		
・3DCADの立体形状の名称と形状			・ソリッド、サーフェス、ワイヤー		
・3DCADの立体形状の表示の種類			・シェーディング、レンダリング		
・その他のCADソフトとのデータの互換			・上位互換性、下位互換性		

コ マ シ ラ バ ス				
【科目名】			第 4 回 (全 12 回)	
CAD概論		(60 分授業)		
【学 科 または コース名】		(学 年)		(担当教員)
学び直し合同講座				串田由華
【今日のテーマ】				
データの変換 CADの中間ファイル				
【今日の目標】				
データの変換 CADの中間ファイル				
【今日の学習内容】			【今日の重要用語・キーワード】	
・CADソフトの違いによるファイル変換			・CADソフトの違いがあっても対応できる	
・CADソフトのバージョン違いによるファイル変換			・拡張子の意味と種類	
・拡張子とは			・DWG以外のファイル種類	

コ マ シ ラ バ ス									
[科目名]				第	5	回	(全	12	回)
CAD概論				(60分授業)					
[学科またはコース名]				(学年)		(担当教員)			
学び直し合同講座						串田由華			
[今日のテーマ]									
図形の基礎と性質 立体図形の名称と特徴									
[今日の目標]									
図形の基礎と性質 立体図形の名称と特徴									
[今日の学習内容]					[今日の重要用語・キーワード]				
・作図と図形の必要性					・円の性質				
・各図形の名称と特質					・円の性質による図形の描き方				
・立体図形の名称									

コ マ シ ラ バ ス				
【科目名】			第 6 回 (全 12 回)	
CAD概論		(60 分授業)		
【学 科 または コース名】		(学 年)		(担当教員)
学び直し合同講座				串田由華
【今日のテーマ】				
3Dプリンター 制作物				
【今日の目標】				
3Dプリンター 制作物				
【今日の学習内容】			【今日の重要用語・キーワード】	
・最終日に3Dプリンターを使用して、作成物を印刷するための説明			・色は白色 制作サイズ 40×40 または 50×30	
・3Dプリンターの作成物のデザイン作成				

コ マ シ ラ バ ス					
【科目名】				第 7 回 (全 12 回)	
CAD概論		(60 分授業)			
【学 科 または コース名】		(学 年)		(担当教員)	
学び直し合同講座				串田由華	
【今日のテーマ】					
製図の基準 製図一般基礎					
【今日の目標】					
製図の基準 製図一般基礎					
【今日の学習内容】			【今日の重要用語・キーワード】		
・日本産業規格(JIS)と国際標準規格(ISO)			・JIS規格 ISO規格		
・製図に必要な用紙サイズ、図面様式、尺度			・A3サイズの基本、図面に必要な構成		
			・尺度設定の必要性		

コ マ シ ラ バ ス				
【科目名】			第 8 回 (全 12 回)	
CAD概論		(60 分授業)		
【学 科 または コース名】		(学 年)		(担当教員)
学び直し合同講座				串田由華
【今日のテーマ】				
製図の線画 投影法				
【今日の目標】				
製図の線画 投影法				
【今日の学習内容】			【今日の重要用語・キーワード】	
・線の種類、線の太さ、線の用途			・太い線、細い線、極太線	
・線の優先順位			・実線、破線、一点鎖線	
・立体形状を紙面上に表現するための投影法			・正投影法、第一角法、第三角法	
・投影法の種類				

コ マ シ ラ バ ス					
[科目名]			第	9	回 (全 12 回)
CAD概論		(60 分授業)			
[学 科 または コース名]		(学 年)	(担当教員)		
学び直し合同講座			串田由華		
[今日のテーマ]					
投影法の種類 1					
[今日の目標]					
投影法の種類 1					
[今日の学習内容]			[今日の重要用語・キーワード]		
<ul style="list-style-type: none"> ・対象物によって主投影図の正面図の方向が変わることを認識 ・対象物によっては、平面図・側面図・下面図・背面図などの種類を使用し配置を考える ・三面図のみで表現できない対象物への補助図 			<ul style="list-style-type: none"> ・斜面形状のの作図……補助投影図 ・対象物の一部分のみ作図……局部投影図 ・部分拡大図、部分投影図 		

コ マ シ ラ バ ス				
【科目名】			第 10 回 (全 12 回)	
CAD概論		(60 分授業)		
【学 科 または コース名】		(学 年)		(担当教員)
学び直し合同講座				串田由華
【今日のテーマ】				
投影法の種類 2				
【今日の目標】				
投影法の種類 2				
【今日の学習内容】			【今日の重要用語・キーワード】	
・断面図の種類と描き方を対象物によって作成する			・全断面図、片側断面図、部分断面図	
・図形の省略をすることで図面を整理すること			・対称省略図示法	
・断面図を作成するJIS規格の認識				

コ マ シ ラ バ ス				
[科目名]		第 11 回 (全 12 回)		
CAD概論		(60 分授業)		
[学科またはコース名]		(学年)		(担当教員)
学び直し合同講座				串田由華
[今日のテーマ]				
投影法の種類 3 寸法記入				
[今日の目標]				
投影法の種類 3 寸法記入				
[今日の学習内容]		[今日の重要用語・キーワード]		
・特殊図示法…丸みのある対象物を平面で表示		・相貫線…Rの付いている、板、アーム、軸、軸穴		
・円筒形の対象物に平面がある表示				
・寸法記入の基本要素		・寸法を構成している名称		
・JIS規格を用いて作成した図面に寸法記入で情報を明記する		・長さ寸法、平行寸法、半径寸法、直径寸法		
・寸法の種類				

コ マ シ ラ バ ス				
【科目名】			第 12 回 (全 12 回)	
CAD概論		(60 分授業)		
【学 科 または コース名】		(学 年)		(担当教員)
学び直し合同講座				串田由華
【今日のテーマ】				
寸法補助記号 寸法の基本要素				
【今日の目標】				
寸法補助記号 寸法の基本要素				
【今日の学習内容】			【今日の重要用語・キーワード】	
<ul style="list-style-type: none"> ・JIS規格を用いて作成した図面に寸法記入で情報を明記する ・図形の意味を明確に示すために寸法補助記号を使用 ・補助記号を1つずつ意味を理解し記入方法を理解 			<ul style="list-style-type: none"> ・「寸法補助記号」半径寸法・球半径・正方形・厚さ・穴寸法 ・「寸法記入」半径・直径寸法、球の直径・半径、正方形、厚さ、穴寸法 	

CAD 概論コマシラバス

CAD システムシラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
CADシステム			前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
60分	12回	(12時間)	必須	串田由華
授業の概要				
CADシステムの基本操作、各種コマンド、図形を選択方法、線種、寸法記入(使用ソフト: AutoCAD)				
授業終了時の到達目標				
CADソフト(Autocad2021)を使用して、図面を作図していく為の基本操作・環境設定・作図領域の考え方などを理解する。				
回	テーマ	内容		
1	AutoCADの基本・構成	・AutoCAD とはどのようなものなのか 画面構成・名称 操作環境設定・ファイルを新規作成・保存・開く		
2	AutoCADの基本	・作図領域の設定・作図補助設定 ・相対座標・絶対座標・極座標・直接距離入力方法		
3	基本コマンド(作図コマンド)	・作図コマンドを使い自由に図形を描く		
4	基本コマンド(作図コマンド)	・作図コマンドの練習		
5	練習問題作図	・投影-1 投影-4		
6	練習問題作図	・投影-4 投影-7		
7	基本コマンド(修正コマンド)	・図形を自由に修正コマンド 自由に編集		
8	基本コマンド(修正コマンド)	・修正コマンドの練習		
9	練習問題作図	・投影-1 投影-4		
10	練習問題作図	・投影-4 投影-7 (寸法記入)		
11	練習問題作図	・投影-7 練習用-1 (寸法記入)		
12	練習問題作図	・投影-7 練習用-1 (寸法記入)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他

CAD システムシラバス

CAD システムコマシラバス

コ マ シ ラ バ ス			
【科目名】		第 1 回 (全 12 回)	
CADシステム		(60 分授業)	
【学 科 または コース名】		(学 年)	
学び直し合同講座			
		(担当教員)	
		串田由華	
【今日のテーマ】			
AutoCADの基本・構成			
【今日の目標】			
AutoCADの基本・構成			
【今日の学習内容】		【今日の重要用語・キーワード】	
<ul style="list-style-type: none"> ・AutoCADの図面の考え方 ・AutoCADの画面構成・画面の名称 各リボン・ツールバーをプリントで確認 ・オプション設定の作図領域の設定確認 ・マウスのホイールを使い画面の移動方法 		<ul style="list-style-type: none"> ・「AutoCAD2021の構成」「画面構成」 ・「AutoCAD2021の操作環境設定」 	

コ マ シ ラ バ ス					
[科目名]				第 2 回 (全 12 回)	
CADシステム		(60 分授業)			
[学 科 または コース名]		(学 年)		(担当教員)	
学び直し合同講座				串田由華	
[今日のテーマ]					
AutoCADの基本					
[今日の目標]					
AutoCADの基本					
[今日の学習内容]			[今日の重要用語・キーワード]		
<ul style="list-style-type: none"> ・コマンド実行方法 ・ワークスペースの設定 ・ステータスバーの詳細設定 			<ul style="list-style-type: none"> ・「作図コマンド」「環境設定」 ・「図面を作成」「図面を開く」 		
<ul style="list-style-type: none"> ・新規作成の図面 ・保管されている図面を開く ・コマンドの実行方法 ・オブジェクトスナップの設定 					

コ マ シ ラ バ ス				
【科目名】			第 3 回 (全 12 回)	
CADシステム		(60 分授業)		
【学 科 または コース名】		(学 年)		(担当教員)
学び直し合同講座				串田由華
【今日のテーマ】				
基本コマンド(作図コマンド)				
【今日の目標】				
基本コマンド(作図コマンド)				
【今日の学習内容】			【今日の重要用語・キーワード】	
・オブジェクトのポイントの名称・表す形を学習			・「オブジェクトのポイントを認識する」 OSNAP	
・作図コマンドー自由に図形を描く			・コマンドレス機能	
・線分・ポリライン・長方形・ポリゴン・削除 コマンド機能				
・OSNAPをすべて確認				

コ マ シ ラ バ ス								
【科目名】			第	4	回	(全	12	回)
CADシステム		(60分授業)						
【学科またはコース名】		(学年)	(担当教員)					
学び直し合同講座			串田由華					
【今日のテーマ】								
基本コマンド(作図コマンド)								
【今日の目標】								
基本コマンド(作図コマンド)								
【今日の学習内容】				【今日の重要用語・キーワード】				
・線分・ポリライン・長方形・ポリゴン・削除 コマンド機能				正確な図形を作成するために便利な機能を使用する ・「作図コマンド」「直交モード」				
・円・曲線・円弧・楕円 コマンド機能								
・図形を自由な大きさに作成する・便利な機能を使用								

コ マ シ ラ バ ス				
【科目名】			第 5 回 (全 12 回)	
CADシステム		(60 分授業)		
【学 科 または コース名】		(学 年)		(担当教員)
学び直し合同講座				串田由華
【今日のテーマ】				
練習問題作図				
【今日の目標】				
練習問題作図				
投影図—1 投影図—4				
【今日の学習内容】			【今日の重要用語・キーワード】	
・自由な図形を作図コマンドで作成			・「コマンドのオプション」 一時OSNAP	
・作図コマンドで図形を描くためにコマンドのオプション機能を使う				

コ マ シ ラ バ ス					
[科目名]				第 6 回 (全 12 回)	
CADシステム		(60 分授業)			
[学 科 または コース名]		(学 年)		(担当教員)	
学び直し合同講座				串田由華	
[今日のテーマ]					
練習問題作図					
[今日の目標]					
練習問題作図					
投影-4 投影図-7					
[今日の学習内容]			[今日の重要用語・キーワード]		
・オブジェクトの選択方法の種類を学習			・「オブジェクトの選択方法 交差・窓・フェンス」		
・マウスでクリック、マウスで領域、コマンドなどの選択方法			・「立体から三面図」		
・オブジェクトの選択方法により効率的な作業を認識					
・画層へのコントロール方法					

コ マ シ ラ バ ス				
【科目名】			第 7 回 (全 12 回)	
CADシステム		(60 分授業)		
【学 科 または コース名】		(学 年)		(担当教員)
学び直し合同講座				串田由華
【今日のテーマ】				
基本コマンド(修正コマンド)				
【今日の目標】				
基本コマンド(修正コマンド)				
【今日の学習内容】			【今日の重要用語・キーワード】	
・移動・複写・オフセット・回転・トリム・延長			・「修正コマンド」	
・円・曲線・円弧・楕円 コマンド機能				
・正確な図形を修正するために便利な機能を使用				

コ マ シ ラ バ ス				
[科目名]		第 8 回 (全 12 回)		
CADシステム		(60 分授業)		
[学科 または コース名]		(学 年)		(担当教員)
学び直し合同講座				串田由華
[今日のテーマ]				
基本コマンド(修正コマンド)				
[今日の目標]				
基本コマンド(修正コマンド)				
[今日の学習内容]		[今日の重要用語・キーワード]		
・修正コマンドー図形を自由に編集		・「修正コマンド」		
・プリント「図形を自由に編集」を使い基本の操作を復習作業				
・寸法通りに修正コマンドの操作方法				

コ マ シ ラ バ ス				
【科目名】			第 9 回 (全 12 回)	
CADシステム		(60 分授業)		
【学 科 または コース名】		(学 年)		(担当教員)
学び直し合同講座				串田由華
【今日のテーマ】				
練習問題作図				
【今日の目標】				
練習問題作図				
・投影-1 投影-4				
【今日の学習内容】			【今日の重要用語・キーワード】	
・作図・修正コマンドを使い簡単な図形を描く			・「作図コマンド」・「修正コマンド」・「オブジェクトの選択」・「基点設定」	
・基点設定の一時OSNAPを使う				
・正確な図形を作成するために便利な機能を使用				

コ マ シ ラ バ ス					
[科目名]			第	10	回 (全 12 回)
CADシステム		(60 分授業)			
[学 科 または コース名]		(学 年)	(担当教員)		
学び直し合同講座			串田由華		
[今日のテーマ]					
練習問題作図					
[今日の目標]					
練習問題作図					
・投影-4 投影-7 (寸法記入)					
[今日の学習内容]			[今日の重要用語・キーワード]		
・図面読み取り・作図するための方法を学習			・「作図コマンド」・「修正コマンド」・「オブジェクトの選択」・「基点設定」		
・プリント 機械部品図面を作図			・「基本操作」・「図面を理解する」		
・プリント練習問題で簡単な図形を描く					
・作図の終了後、寸法記入					

コ マ シ ラ バ ス				
【科目名】			第 11 回 (全 12 回)	
CADシステム		(60 分授業)		
【学 科 または コース名】		(学 年)		(担当教員)
学び直し合同講座				串田由華
【今日のテーマ】				
練習問題作図				
【今日の目標】				
練習問題作図				
・投影-7 練習用-1 (寸法記入)				
【今日の学習内容】			【今日の重要用語・キーワード】	
・図面読取り・作図するための方法を学習			・「作図コマンド」・「修正コマンド」・「オブジェクトの選択」・「基点設定」	
・プリント 機械部品図面を作図				
・プリント練習問題で簡単な図形を描く			・「基本操作」・「図面を理解する」	
・作図の終了後、JIS規格に沿って寸法記入			・「画層」の使い方	

コ マ シ ラ バ ス				
[科目名]		第 12 回 (全 12 回)		
CADシステム		(60 分授業)		
[学科またはコース名]		(学年)		(担当教員)
学び直し合同講座				串田由華
[今日のテーマ]				
練習問題作図				
[今日の目標]				
練習問題作図				
・投影-7 練習用-1 (寸法記入)				
[今日の学習内容]		[今日の重要用語・キーワード]		
・図面読み取り・作図するための方法を学習		・「作図コマンド」・「修正コマンド」・「オブジェクトの選択」・「基点設定」		
・プリント 機械部品図面を作図		・「基本操作」・「図面を理解する」		
・寸法記入の基本、寸法の編集		・「画層」の使い方		
・作図の終了後、JIS規格に沿って寸法記入				

CAD システムコマシラバス

CAD 実習シラバス

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
CAD実習			前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
60分	18回	(18時間)	必須	串田由華
授業の概要				
基本操作、3次元モデルの編集、2次元図面への展開、アセンブリ(組立)、サーフェス(面)を利用したモデリング、課題演習(使用ソフト: Inventor2021)				
授業終了時の到達目標				
3DCADの立体形状を作成・編集 3D機能を利用し機械部品を作図 3D立体形状を3Dプリンターを使用して印刷				
回	テーマ	内容		
1	Inventorの基礎	・3Dの表示概要・ツールの種類など2Dとの違いを認識		
2	Inventorの基礎	・操作画面とツール		
3	Inventorの基礎	・ファイルの操作と種類		
4	3DCADの空間軸	・3Dは3軸(X,Y,Z)で構成すること・ブラウザを理解する		
5	3DCADの作成方法	・3Dの立体形状を作成する方法を認識		
6	スケッチフィーチャの基本	・スケッチを作成する平面を認識 ・スケッチツールを理解する		
7	ブラウザ履歴の構成・理解	・Inventorにあるブラウザの利用方法		
8	配置フィーチャの基本	・配置フィーチャのコマンドの使い方		
9	練習問題	・スケッチフィーチャ、配置フィーチャ、拘束の練習		
10	3Dプリンターの制作物 データ作成	・授業内で3Dプリンターで実際の制作を体験、印刷		
11	3Dプリンターの制作物 データ作成	・授業内で3Dプリンターで実際の制作を体験、印刷		
12	3Dプリンターの制作物 データ作成	・授業内で3Dプリンターで実際の制作を体験、印刷		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
CAD実習			前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
60分	18回	(18時間)	必須	串田由華
授業の概要				
基本操作、3次元モデルの編集、2次元図面への展開、アセンブリ(組立)、サーフェス(面)を利用したモデリング、課題演習(使用ソフト: Inventor2021)				
授業終了時の到達目標				
3DCADの立体形状を作成・編集 3D機能を利用し機械部品を作図 3D立体形状を3Dプリンターを使用して印刷				
回	テーマ	内容		
13	3Dプリンター データ修正	・3Dプリンターのデータを修正、印刷		
14	練習問題	・3面図を読み取り、立体形状を作成		
15	練習問題	・3面図を読み取り、立体形状を作成		
16	3Dプリンター 出力変換	・3Dプリンターを使用するために、必要な作業		
17	3Dプリンター 制作物の確認	・3Dプリンターの印刷結果の確認		
18	練習問題	・機械部品の作図		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他

CAD実習シラバス

CAD 実習コマシラバス

コ マ シ ラ バ ス			
【科目名】		第 1 回 (全 18 回)	
CAD実習		(60 分授業)	
【学 科 または コース名】		(学 年)	
学び直し合同講座			
		(担当教員)	
		串田由華	
【今日のテーマ】			
Inventorの基礎			
【今日の目標】			
Inventorの基礎			
【今日の学習内容】		【今日の重要用語・キーワード】	
・3Dの表示概要		・機能名称	
・ツールの種類など2Dとの違いを認識		・画面の構成	
・サンプル立体形状を見ながら3Dの表示スタイル		・起動画面の確認	
・画面の操作			

コ マ シ ラ バ ス				
[科目名]		第 2 回 (全 18 回)		
CAD実習		(60 分授業)		
[学科またはコース名]		(学年)		(担当教員)
学び直し合同講座				串田由華
[今日のテーマ]				
Inventorの基礎				
[今日の目標]				
Inventorの基礎				
[今日の学習内容]		[今日の重要用語・キーワード]		
・スケッチを作成する平面を認識		・XY面、XZ面、YZ面		
・スケッチツールを理解する		・オプション設定		
・作図補助のカスタマイズ				

コ マ シ ラ バ ス				
【科目名】			第 3 回 (全 18 回)	
CAD実習		(60 分授業)		
【学 科 または コース名】		(学 年)		(担当教員)
学び直し合同講座				串田由華
【今日のテーマ】				
Inventorの基礎				
【今日の目標】				
Inventorの基礎				
【今日の学習内容】			【今日の重要用語・キーワード】	
・ファイルの新規作成			・「. Jpt」「. Iam」「. Dwg」「. Jpn」	
・ファイルの種類 4つのファイル構成				

コ マ シ ラ バ ス					
[科目名]			第 4 回 (全 18 回)		
CAD実習		(60分授業)			
[学科またはコース名]		(学年)		(担当教員)	
学び直し合同講座				串田由華	
[今日のテーマ]					
3DCADの空間軸					
[今日の目標]					
・3Dは3軸(X,Y,Z)で構成すること・ブラウザを理解する					
[今日の学習内容]			[今日の重要用語・キーワード]		
・3Dは3軸(X,Y,Z)で構成すること・ブラウザを理解			・Plan(面)とAxis(軸)の選択		
・3Dの固定面、固定軸、作業面の理解					
・面の選択による立体形状の方向					

コ マ シ ラ バ ス				
【科目名】			第 5 回 (全 18 回)	
CAD実習		(60 分授業)		
【学 科 または コース名】		(学 年)		(担当教員)
学び直し合同講座				串田由華
【今日のテーマ】				
3DCADの作成方法				
【今日の目標】				
3DCADの作成方法				
【今日の学習内容】			【今日の重要用語・キーワード】	
・3Dの立体形状を作成する方法を認識			・拘束の種類	
・2次元スケッチ、スケッチフィーチャ、配置フィーチャの流れ			・完全拘束(固定)	
・拘束とパラメータ(寸法編集)による図形の編集				

コ マ シ ラ バ ス				
[科目名]		第 6 回 (全 18 回)		
CAD実習		(60 分授業)		
[学科またはコース名]		(学年)		(担当教員)
学び直し合同講座				串田由華
[今日のテーマ]				
スケッチフィーチャの基本				
[今日の目標]				
スケッチフィーチャの基本				
[今日の学習内容]		[今日の重要用語・キーワード]		
・新規の空間に自由な大きさと作成		・ジオメトリ拘束を使い図形作成を練習		
・ジオメトリ拘束の種類と図形作成		・「自動拘束」「寸法拘束」		
・ジオメトリ拘束の操作方法		・「押し出し」		
・押し出しフィーチャ・回転フィーチャを使用し立体形状作成		・「回転」		

コ マ シ ラ バ ス				
【科目名】			第 7 回 (全 18 回)	
CAD実習		(60 分授業)		
【学 科 または コース名】		(学 年)		(担当教員)
学び直し合同講座				串田由華
【今日のテーマ】				
ブラウザ履歴の構成・理解				
【今日の目標】				
ブラウザ履歴の構成・理解				
【今日の学習内容】			【今日の重要用語・キーワード】	
・Inventorにあるブラウザの利用方法			・ブラウザ(履歴)	
・ジオメトリ拘束の復習			・スケッチ編集 フィーチャ編集	
・寸法拘束での形状作成			・押し出しフィーチャとスケッチの組合せ	
・ジオメトリ拘束ツールの確認				
・スケッチ作成の練習				

コ マ シ ラ バ ス				
[科目名]		第 8 回 (全 18 回)		
CAD実習		(60 分授業)		
[学 科 または コース名]		(学 年)		(担当教員)
学び直し合同講座				串田由華
[今日のテーマ]				
配置フィーチャの基本				
[今日の目標]				
配置フィーチャの基本				
[今日の学習内容]		[今日の重要用語・キーワード]		
<ul style="list-style-type: none"> 基本形状を作成し3D編集フィレット・面取りで3D形状編集可能 コマンド機能のオプションを理解する 		<ul style="list-style-type: none"> 「配置フィーチャ」「フィレット」「面取り」 「複数のフィレット」 		

コ マ シ ラ バ ス				
【科目名】			第 9 回 (全 18 回)	
CAD実習		(60 分授業)		
【学 科 または コース名】		(学 年)	(担当教員)	
学び直し合同講座			串田由華	
【今日のテーマ】				
練習問題				
【今日の目標】				
練習問題				
BA-1 BA-2 BA-3 BA-4				
【今日の学習内容】			【今日の重要用語・キーワード】	
・スケッチフィーチャ、配置フィーチャ、拘束の練習			・「スケッチ」、「拘束」、「押出し」、	
・押し出しフィーチャで「結合」「回転」「貫通」機能				

コ マ シ ラ バ ス				
[科目名]		第 10 回 (全 18 回)		
CAD実習		(60 分授業)		
[学 科 または コース名]		(学 年)		(担当教員)
学び直し合同講座				串田由華
[今日のテーマ]				
3Dプリンターの制作物 データ作成				
[今日の目標]				
3Dプリンターの制作物 データ作成				
[今日の学習内容]		[今日の重要用語・キーワード]		
・最終日に3Dプリンターによる印刷物 説明		「3Dプリンター」		
・作成物のサイズ、デザインをノートに作成				
・AutoCADデータを作成				

コ マ シ ラ バ ス				
【科目名】			第 11 回 (全 18 回)	
CAD実習		(60 分授業)		
【学 科 または コース名】		(学 年)	(担当教員)	
学び直し合同講座			串田由華	
【今日のテーマ】				
3Dプリンターの制作物 データ作成				
【今日の目標】				
3Dプリンターの制作物 データ作成				
【今日の学習内容】			【今日の重要用語・キーワード】	
			「3Dプリンター」	
・CADデータの確認				
・CADデータを作成・修正				

コ マ シ ラ バ ス				
[科目名]		第 12 回 (全 18 回)		
CAD実習		(60 分授業)		
[学 科 または コース名]		(学 年)		(担当教員)
学び直し合同講座				串田由華
[今日のテーマ]				
3Dプリンターの制作物 データ作成				
[今日の目標]				
3Dプリンターの制作物 データ作成				
[今日の学習内容]		[今日の重要用語・キーワード]		
		「3Dプリンター」		
・CADデータの確認				
・CADデータを作成・修正・保存				

コ マ シ ラ バ ス					
【科目名】				第 13 回 (全 18 回)	
CAD実習		(60 分授業)			
【学 科 または コース名】		(学 年)		(担当教員)	
学び直し合同講座				串田由華	
【今日のテーマ】					
3Dプリンター データ修正					
【今日の目標】					
3Dプリンター データ修正					
【今日の学習内容】			【今日の重要用語・キーワード】		
・3D用CADデータを講師がテスト印刷した不具合の修正			「3Dプリンター」		

コ マ シ ラ バ ス					
【科目名】				第 14 回 (全 18 回)	
CAD実習		(60 分授業)			
【学 科 または コース名】		(学 年)		(担当教員)	
学び直し合同講座				串田由華	
【今日のテーマ】					
練習問題					
【今日の目標】					
練習問題					
BA-3 BA-4					
【今日の学習内容】			【今日の重要用語・キーワード】		
・スケッチフィーチャと配置フィーチャを使用して、立体形状を作成			・「スケッチ」の重複		
・練習問題を解説と共に作成			・「完全拘束」の設定		

コ マ シ ラ バ ス				
【科目名】			第 15 回 (全 18 回)	
CAD実習		(60 分授業)		
【学 科 または コース名】		(学 年)		(担当教員)
学び直し合同講座				串田由華
【今日のテーマ】				
練習問題				
【今日の目標】				
練習問題				
BA-5 AP-6				
【今日の学習内容】			【今日の重要用語・キーワード】	
・スケッチフィーチャと配置フィーチャをしようして、立体形状を作成			・「スケッチ」の重複	
・練習問題を解説と共に作成			・「完全拘束」の設定	

コ マ シ ラ バ ス				
[科目名]			第 16 回	(全 18 回)
CAD実習		(60 分授業)		
[学 科 または コース名]		(学 年)	(担当教員)	
学び直し合同講座			串田由華	
[今日のテーマ]				
3Dプリンター 出力変換				
[今日の目標]				
3Dプリンター 出力変換				
[今日の学習内容]		[今日の重要用語・キーワード]		
・Inventorソフトからの3Dプリンターへの変換方法		・「. stl」 リトグラフファイル		
・変換ファイルの違いを確認		・3Dプリンタードライブへの出力		
・3Dプリンターでの出力のプレビュー確認				

コ マ シ ラ バ ス				
【科目名】			第 17 回 (全 18 回)	
CAD実習		(60 分授業)		
【学 科 または コース名】		(学 年)		(担当教員)
学び直し合同講座				串田由華
【今日のテーマ】				
3Dプリンター 制作物の確認				
【今日の目標】				
3Dプリンター 制作物の確認				
【今日の学習内容】			【今日の重要用語・キーワード】	
・3Dプリンターの印刷結果の確認			・印刷物の確認	
・印刷結果(制作物)のバリ取り掃除				

コ マ シ ラ バ ス				
[科目名]		第 18 回 (全 18 回)		
CAD実習		(60 分授業)		
[学科またはコース名]		(学 年)		(担当教員)
学び直し合同講座				串田由華
[今日のテーマ]				
練習問題				
[今日の目標]				
練習問題				
PC-DESK AP-10(軸受)				
[今日の学習内容]		[今日の重要用語・キーワード]		
<ul style="list-style-type: none"> ・追加の練習問題を解説と共に作成 ・機械部品の「リブ」の作成方法の注意点 ・3Dの立体形状の構成を考えながらツール操作を確実にする 		<ul style="list-style-type: none"> ・「押し出し」を使い作成する「パーツ」のスケッチ ・フィーチャコマンドの作成順序 		

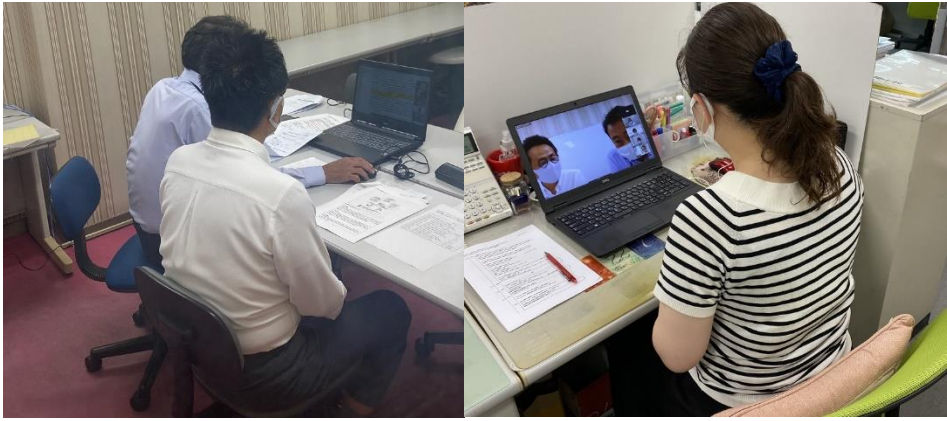
CAD 実習コマシラバス

4 短期リカレント教育プログラム人材養成委員会

(資料)

第一回短期リカレント教育プログラム人材養成委員会 議事録 116

第二回短期リカレント教育プログラム人材養成委員会 議事録 121

会議の名称	令和3年度「専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト」 「ものづくり育成のためのリスタートプログラム開発事業」 第1回プログラム検討委員会 議事録
開催日時	令和3年7月21日（水）15:00～16:00
開催場所	穴吹カレッジキャリアアップスクール
出席者	伊藤 慎二郎委員長、小笠原 清人委員、北原 聡委員、宮西 大輔委員、住井 雄二委員、前田 靖委員、村上 美由紀委員、善浪 悟委員、高橋 忍委員 欠席委員：仙倉 真行委員、藤井 良朗委員、信岡 誠三委員 事務局員：2名
（当日写真）	
（司会）	松浦 生幸
議事録作成	安原 朝美
議事録作成方法	要点筆記
議題	（1）令和3年度事業概要説明とカリキュラム案（意見聴取） （2）受講生募集（意見徴収） （3）事務連絡
会議資料	資料1 プログラム検討委員名簿（A4 資料 1 枚） 資料2 令和3年度事業計画書（事業概要）（A4 冊子） 資料3 最終カリキュラム案について（意見聴取）（A4 資料 1 枚、A3 資料 1 枚） 資料4 受講生募集方法について（意見聴取）（A4 資料 1 枚）
議事	事務局から、資料1を用いて令和3年度事業計画書（事業概要）報告、資料2を用いて最終カリキュラム案について説明の後、カリキュラム案について質疑応答が行われた。 （小笠原委員） 新しいカリキュラムを見させていただいて、平日がなくなったということで、

比較的参加しやすくなるのではないかと考える。コンピュータ基礎の部分を重視すると、コミュニケーションがちゃんととれるということと、もう一つ、情報セキュリティ関係をしっかり教育していただくのが良いのではないかと感じている。

(北原委員)

科目が減りすっきりして凄く分かり易く、目的も明確になったのではないかと思う。当校の学生に言えることだが、最近キーボード離れが進んでおり、スマホを使用する時間が延びたせいなのか、非常にキーボードスキルが低い人が多いので、PC スキルの科目でタイピングを少し最初に行っていただくと、後のカリキュラムが進み易くなるのではないかと思った。

(松浦)

是非それはやりたいと思う。

(宮西委員)

非常に昨年度の意見からきりっとした感じになっていると思う。CAD は慣れが重要になる部分もあるので、時間配分もほどよいのではないかという印象を受けている。

(住井委員)

ずいぶんすっきりしてきたと思う。夜間は何時から何時までの予定か。

(松浦)

夜間は 18:30~21:30 を予定。

(住井委員)

少し気になるのはコミュニケーションの部分を通信に振り替えと言われたが、そうした場合に通信でグループワークや受講生の中でのディスカッション等通信で行う上での少し工夫がいるのではないかと思う。対面型で行うよりは Web・オンラインの予定だと思うが、しっかり受講している方が理解しやすい、しっかりコミュニケーションを取れるような工夫を入れていただくとより良いものになるのではないかと思う。職業人講話については聴く授業だからさほど問題はないと思うが、特にコミュニケーションはしっかり取り組もうとした場合に、オンラインで行う難しさがあると思うので、工夫が必要かなと思っている。

(松浦)

コミュニケーションに関しては、同じように文科省事業で行っている開発教材があるので、その本を使いながら皆さんが出来るだけ受講生が合同で参加できるように工夫していきたい。

(前田委員)

すっきりして分かり易くなった、特に実務的な部分ということで CAD が目

立って、実務の部分がしっかり学べるという気がする。

(村上委員)

気付きで専門ではないが、ディスカッション、アウトプットの所が何かしら入り、発表という場も必要ではないかと思う。非正規の方、不安定な就労に在る方ということで、キャリアデザイン、ライフデザイン、将来設計を見据えたお話しが聞ける場が職業人講話でもそういった機会があれば、特に気になるのが、お金、年金、保険、そういった話しがFPから聞けるといいかなと思った。

(松浦)

職業人講話についてはキャリアデザイン等、講師と打ち合わせて盛り込んでいきたい。

(善浪委員)

カリキュラムの各科目の細かい内容は専門ではないのでよく分からないが、科目がすっきりしてよくなったと思う。

(高橋委員)

時間数が少なくなって必要なものがきちりと入ったカリキュラムという印象を受けている。気になったのは、座学で例えば情報リテラシーの座学が、1日6時間びっしり入っていると、受講生、講師も、専門学校の場合、座学6時間はしんどい所があるので、他の所だとCADを分散するなど、何日かに分けてされているので、何日かに分けてされても良いのではという印象を持った。

(松浦)

科目はなるべく分散して、飽きが来ないようなカリキュラムにしたいが、講師の都合もあるので調整していきたい。

事務局から、資料4を用いて受講生募集方法について説明の後、受講生募集方法について質疑応答が行われた。

(高橋委員)

資料を拝見して印象は、しっかり広報されるんだなというイメージが、新聞広告、Web広告、良い悪いではなくて印象に残った。少し思ったのが、対象となる非正規の方、無職、求職の方に直接アプローチする手段が余りないんだろうなと思い、専門学校だと直接高校生にDMを送ったり出来るが、情報を取得するのが難しいのかなという印象だった。企業DMと書いてあるが直接はできないのかなと思った。もう一つは、対象が30代~40代ぐらいの就職氷河期の方ということなので、保護者との繋がりが弱いのかもかもしれないが、例えば子供が無職で、非正規でと思っている保護者にアプローチが出来

ると、保護者から子供へと、年齢が上になるとそういうのは無いのかもしれないが、そういったアプローチもあるのではないかと思った。

(松浦)

アプローチがなかなか難しいが、色々考えて出来る限り企業様に協力いただきながら集めていきたい。

(善浪委員)

募集に関してはHW内にチラシ設置は当然させてもらうが、近日中にSNS、LINE、TwitterをHW福山として開始するので周知させていただく。

(村上委員)

福山市のイベント等で企業向け、個人向けで色々周知するすべがあるので、協力できると思う。9月に合同企業説明会も行うので、登録いただいた個人の方には連絡できる。ふれあいランドで行っている自立支援事業は、登録者100人くらいいるが、お聞きすると半数50人くらいはPC使われている。直接呼びかけ、チラシ配布もできると思う。保健所での相談では、家族の方への直接の周知、窓口でも可能だと思う。企業に対しては、持っているデータベースがあるので、チラシも配布可能だと思う。

(前田委員)

チラシ等で配布など協力できると思う。細かな点で気になるのは、受講することで何が出来るようになるのか、何が身に付くのか、という所だが、事業概要の所で、受講することで得られる資格と記載があるが、受講して得られるのではなくて、目指せる資格等で良いか。もし記載するのであれば、その辺りも記載されると、資格と結びつけてイメージしやすいのかなと思うが、どういう表現になるのかなと少し気になった。

(松浦)

資格も取れるという所もチラシには反映していきたい。チラシも出来たらご意見いただきたい。ご協力をお願いしたい。

(住井委員)

非正規雇用の個人の方にどうアプローチするのが難しいと思っている。やみくもに、ハローワークに来られるだけではないと思うので、アプローチの仕方を具体的に考えて行動に移した方がより集客しやすい気がしている。対象は非正規雇用の方、求職者の方、新たに仕事を求めようとしている方等、個人狙いをどうターゲットに対して集客活動するのかと思う。一般的に企業の社員に対しては企業を通して営業活動できるが、そういったチャンネルを持っていない方に対してどうするのかと思う。非正規で企業に入られている方は、企業を通して今は非正規だけこういう資格、技術を持ったら正規になりうるといったアプローチができればもっとうまくいくのかなと思う

が、企業の事情で非正規の方をすぐ正規にするのは難しいのかもしれないが、アプローチの仕方の工夫があるのかなと思う。

(松浦)

事務局等検討して参りたい。良い処方があればお知恵を拝借いただきたい。

(宮西委員)

質問になるが、リマーケティング広告はかなりいいと思うが、キーワードがいくつか上がっているが、実際にキーワードで周辺部分、一つのワードに対してどのくらい広がりがある所までヒットするものなのか。

(松浦)

初めての試みで分からな所もあるが効果的な所はあると聞いているので、チャレンジということで、入れた。

(宮西委員)

リマーケティング広告は有効ではないかと思っていて、非正規、就職氷河期の方、潜在的な本来の受講生、本人は余り気付いていない方もいるのかなと思うので、そういった面でいくとインターネット活用は非常に効果的だと思う。

(松浦)是非チャレンジしてみたい。

(北原委員)

凄く大変な広報活動になるのではと思って拝見していた。恐らくチラシを見た方は、電話で問合せされる事が多いという気がするので、講座内容等充分に部内で共有していただいて、どなたでも正しく返答できるようにされた方が良いのかなと思った。

(松浦)態勢は整えていきたい。

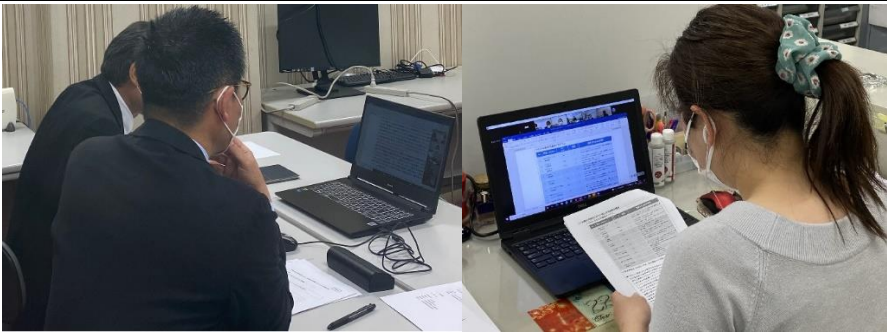
(小笠原委員)

善浪委員が言われていたような、SNS を活用するのがいいのではと思っていた。弊社も企画を個人にばらまこうとした時にメール等より SNS の方が良いということで、SNS で検討することの方が多いが、非正規の方がアルバイト等を探すのも、SNS を使って探しているのは TV の報道などでもよく出ているので、うまく活用して募集するのが良いのではないかなと思う。

(松浦)

募集チラシが出来たら持参するか報告する。

(事務局)以上で本日の予定議題の検討が終わり、ほかに報告事項などもないためこれで会議を終了する。次回の委員会は、令和4年2月9日15時からの予定。実証講座実施中の検討評価委員の選定については個別に事務局から連絡する。

会議の名称	令和3年度「専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト」 「ものづくり IT 人材育成のためのリスタートプログラム開発事業」 産官学連携による短期リカレント教育プログラム人材育成委員会 議事録
開催日時	令和4年2月7日（月）15:00～17:00
開催場所	穴吹調理製菓専門学校2階 レストラン実習室 （穴吹情報デザイン専門学校の向かい校舎）
出席者	伊藤 慎二郎委員長、小笠原 清人委員、北原 聡委員、仙倉 真行委員、住井 雄二委員、前田 靖委員、藤井 良朗委員、村上 美由紀委員、善浪 悟委員、高橋 忍委員 欠席委員：宮西 大輔委員、信岡 誠三委員 事務局員：2名
（当日写真）	
（司会）	松浦 生幸
議事録作成	安原 朝美
議事録作成方法	要点筆記
議題	（1）令和2年度事業成果報告 （2）開発シラバス・コマシラバス説明 （3）開発教材説明 （4）事務連絡
会議資料	資料1 委員名簿（A4 資料1枚） 資料2 令和3年度「専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト」実績報告書（A4 冊子） 資料3 「ものづくり IT 人材育成のためのリスタートプログラム開発事業」（A4 冊子） 資料4 「ものづくり IT 人材育成のためのリスタートプログラム開発事業」合同講座受講結果報告（A4 冊子）
議事	事務局から、資料2を用いて令和3年度実績報告説明の後、報告した成果物について質疑応答が行われた。

(小笠原委員)

コロナの影響もあったということで出席率 40%というのは高いのか低いのか難しい所ではあると思うが、今会社でも行っているように在宅で出来るようなオンラインでの教育がどうしても必要になってくるのでは。通学で最低限必要なやり方を教授してあげて、後はオンラインで授業進めていくということを考えていかないとここ 1~2 年はまずいのではないかなと思う。使用する PC、ポケット Wi-Fi の貸し出し等も必要になってくるのではないかなと思うので、来年度の計画に盛り込んでどうかと考える。

(松浦)

ポケット Wi-Fi 等、使用 PC などについて次年度予算の中に入れることができるか検討して計画して行きたいと考える。

(北原委員)

20 名も参加者が集まったという所は正直驚きというかなかなかお仕事している方、お忙しい方、まずは 20 名の方が着手しようと思われた所にやはりニーズがあるのかなと感じた。

更に SNS から 7 名ということで、SNS の効果があるのかなと実感している。HP はコストがかかる割には回収が悪いというか、特に今後は SNS に力を入れられるのも良いのではと思った。CAD が難しいということだがやはり、CAD で出てくる用語、図面の基礎、作図の基礎知識等、かなりベースの知識が必要な科目だと思うので、事前準備、例えば自習形式で用意する等、講座の前の予備知識をある程度、良いドキュメントがあれば入れておけば、もう少しスタートが良くなったのではないかなと感じる。

(松浦)

ヒントいただきましてありがとうございました

(仙倉委員)

コロナ過で、通信教育というかコロナが終わったとしても社会の方が行くまでの手間等省けるのであれば、通信教育の割合を増やした方がより出席率も上がるのではないかなと感じた。ただ通信の場合だと、受ける側の PC スペックの問題になってくるとされるし、CAD をするのに通信でも良くて、スマホだとなかなか参加出来なかつたりすると思うので、その方が勤めている会社の PC を使用出来るのであれば、学校に行かなくても参加出来ればもう少し出席者の負担が減るのではないかなと感じる。

(楠目委員)

アンケートの回収率が 60%ということで、少し生徒の皆さんからの意見というのはとても貴重なので、もう少しお声掛け等して回収してはどうかと思う。今年度の方の意見も大変重要だが、このプログラムは 3 年の内 2 年目という

ことで、1期生の方が受けられて社会で活躍されているという理解でよいか。

(松浦)

非正規雇用の方がほとんどではあるが、社会で活躍されている。

(楠目委員)

そういった方達が社会に出て、プログラムの中で得られて気付いたこと、実際に社会で現在の困りごと等、何かのタイミングで意見を収集出来たらもっと良いプログラムに出来るのではないかと感じた。

(前田委員)

分からなかったのだが、紹介が7名、SNSも7名、この辺りにニーズが多い所だったと思うが、実際にその内訳で非正規が何名であるとか、SNSで見ただけでどういう所に興味を持たれたかとか、そういうのがあれば次回また参加者の声掛けする時に皆さんの考えやご意見を聞きやすくなるのかなと思った。

(松浦)

非正規の方が何名など、データに関してはこの後共有し説明する。ちなみに、非正規は14名、無職2名、派遣社員2名、自営1名等。年齢は40代が中心、男女別は女性18名、男性2名。女性の方が多いのが意外だった。

(藤井委員)

20名この時期に良く集まったと感心した。ただ元々が就職氷河期でなかなか正規社員としてきちんと活躍出来ない方を対象にしたリカレント教育だったと思うが、なかなかその趣旨に向かって行ってないのではないかと心配がある。男女比、年齢、正規、非正規等、データを説明されると思うが、イメージとして一生懸命仕事したいけど望み通りの就職が出来ずどうも人生がうまくいっていないと言う方が、ここで再教育を受けて活躍できる場を求めると言うイメージがどうしてもあるが、そのこの所をもう一度想定していければより良い講座になるのではと感じる。

(村上委員)

就職支援について、求職者が1名という報告を受けて、20名受講生がいてその中でアンケートには13名の就業形態の回答があったが、実際に求職者が1名と言う所が少ないなと思った。何が足りなかったのか、就職するにはどういった所がもう少し必要なのか、もう少し詳しく知ることが出来ればプログラムにも反映できるのかなと思った。20名しっかりと集まったんだと感心していたが、実証講座ということでしっかりと今年度受けられた方の意見、思いも個々にでも聞けるようであれば聞かせて貰えたら良いかなと思った。

(善浪委員)

参加者を見ると、在職中の方がほとんどで、ある程度対象者を非正規雇用者

に絞ってもありだったのかなと思う。オンラインで開催する場合に、PC 環境等も会社であれば使わせて貰えることもあるので、それでもありなのかなと思った。

(高橋委員)

報告を聞いて思った所と言うと、コロナがあるのでコロナによって影響受けてと良く聞かすが、通学から通信切り替えていく、通学が少し人数が少なかったということだが、10 月、11 月はコロナ落ち着いていたのではと思う事があり、その辺りが実際の所どうだったのかなと思う。学校でオンライン授業をすることが多いが、少し思う所は、先生の画面を見ながら同じ PC で例えばエクセル等を操作するのは結構大変、画面が狭くて説明と操作が同じ所では出来ないことが多い所が、学校で懸念、対策が必要という声がある。むしろ CAD になるともっと画面見ながら自分の操作したいと思うので、オンラインだとその辺り考慮、配慮が必要になると思う。

(松浦)

出席状況について最初は 15 名からスタートし、最初は多かったが、どんどん出席状況が悪くなったというはある。科目によって CAD に関しては出席者が多い、PC は出席者がどんどん減っていったという状況はあった。12 月～1 月にコロナ感染者が増加したのと同じように出席率悪くなったという状況で、平均を取ると 40%。次年度はオンラインや通信に関しても、どのような手法が良いのか、どういう風に向かしていくのかを委員会で検討議題にあげていきたいと思っている。

次に事務局から、資料 3・4 を用いて令和 3 年度合同講座実施報告の後、報告した成果物について質疑応答が行われた。

(高橋委員)

受講アンケートで思った所だが、適度な PC スキルとかだと、良さそうな感じがするが、適度というのが人によって、例えば自分だと割と知っている内容だったら適度とつけてしまいそうな感じがして、ちょっと難しかったら難しいという感じで、ただ講座を受ける目的は知らないことを学ぶということがメインではないかなと思うので、適度がどれぐらいの適度だったのかと言う所が気になる。テスト等難しい講座かもしれないが、できるのであればどれぐらい理解しているか小テスト等で点数を測ってどれぐらいの習得度、理解度を測る事もあっても良いのかなと思った。

(善浪委員)

受講動機を見ると、CAD に興味がある人もいればパソコンの基礎を学びたい等色々いて、受講する方のレベル差もあるので、受講できる方の条件を明確

に設定して募集をかければ、同じレベルの方で進めて行けるのかなと思った。受講者の内 14 名の方が非正規雇用者でどこかの会社で働かれていると思うが、受講を修了しても今の会社から評価される訳でないのか。

(松浦)

それはまだ考えていなかったので行っていない。

(善浪委員)

受講したことで今働いている会社から評価されるということになれば、色々な意味で有効かなと思った。この事業が氷河期世代の方のキャリアアップを目的としているので、会社は自分の対象労働者を「こういう講座があるよ、行ってみないか」と送りだして、受講を終了したら会社で評価し、キャリアアップ助成金を活用し、正社員化する流れになれば凄く良いかなと思った。

(松浦)

参考にして次年度検討したい。

(村上委員)

アンケートを見る中では、受講者のレベルがまちまちだと思った。出来ればレベルに分けたカリキュラムが望ましいと思ったがそれも難しいかなと思うので、もう少しターゲットを絞った募集をすると良いかなと思った。オンライン授業について、対面と同じようにオンラインの時間を設定すると、受講する場合、対面よりも集中力が必要だったりすると言われているので、全く同じ時間をオンラインで1日6時間等するのは、非常に難しいのかなと思った。出来ればコミュニケーションが同じ立場の方同士でのコミュニケーションもあると良いかなと思うので、ずっとオンラインでなく、ハイブリットな形で出来れば良いのかなと思った。

(松浦)

受講生のレベルにバラつきが見られるので、次年度に関してはパソコンスキルの基本に関しては選択科目にして、パソコンスキルがまだ乏しい方はそれを選んで前以て受講する方法もあるのかなと考えている。委員会で検討材料にさせて欲しい。

(藤井委員)

アンケート等を見て思ったのは学んで終わりと言う感じがあり、受講生が自分がそれではどれだけスキルアップしたか検証する場が今のままだとない。自分の会社へアピール等言われていたが、自分がどれだけ能力が伸びてきたとか、自分が何が出来るようになったとか、自分で自覚できない状態であるならば、余り意味がないと思うので、修了したということ、能力アップしたということ、本人が自覚できる何かを作っていたら受講効果が変わってくるのではないかなと思う。

(前田委員)

レベルの差はどうしてもあると見て分かったが、その中でも、アンケートの中の CAD システム実習の感想の所で、内容が良くて関心が強くなったとか、難しかったけど楽しかった等、見方によるかもしれないが、次に繋がるような言葉を出している方が複数いた。全体感想の所で、今後の学び場がないにしても、更に機会があれば参加したいという次の希望を持たれる意見も複数出ていることはレベルの差があるにしても一つ良いことなのかなと思った。勝手に思い込みだが、フェイスブックやInstagramは自分の意志で来られた方が多くて、前向きに回答する確率が高いのかなと思った。一方で紹介、会社からの紹介等、中には断れない感じで来られる方もいると思うので、紹介の中にも今後やってみたいという非正規の方が含まれているといいなと思った。

(楠目委員)

特に CAD について皆さん、資格を取りたい、深く学びたいということで、講義がない日も教室を開放して勉強したいと言う方は来られて操作されたということでしょうか。CAD は習っただけでなくて操作重ねて、凄い機能を身に付けていくものなので、教室開放は大変良いことだと思う。ただ、受講生のお住まいが広島市等に住んでいる方はなかなか穴吹で勉強できない、できなかったのではないかと推測される。そういう方の為に PC の貸し出し等、検討していただけたらもっと深く勉強できるのではないかと感じた。

(仙倉委員)

受講者 20 名が最後まで受講全て終わって、次のキャリアに結び付けられるのが一番良いと思うので、始まった段階から、どういう風にモチベーションを保ちながら回を重ねて行くという所も課題の一つかなと考えている。うまく日程的な問題もあると思うが、簡単な資格でも良いので、国家資格の IT パスポートの試験、資格など、うまく試験日に連動させて、補助金等あれば受験料を少し負担する等、みんなでそこに向かって頑張り受験しに行き、受ければ自分の資格として履歴書に書けるので、そのような取組が少しあるとより一層、皆最後まで受講してくれて、最終的には就職に繋がる、履歴書にも書けるので良いのではと感じた。

(松浦)

文科省授業は無料で実施しているので受講生から見ると受益になる。非正規雇用者が正規雇用になり、キャリアアップ助成金については受益になり、ダブルの受益となるのは難しい状況である。学んでいただいた方に関して、キャリアアップを図る等追跡に関してはまた今後も皆さまのご意見も踏まえながら追跡して参りたいと考えている。

	<p>(北原委員)</p> <p>CAD のニーズが凄く高いというアンケートがあったが、CAD に限らず受講者の方が専門知識という所に対して凄くニーズを持っているのかなと感じる。キャリアアップするには専門知識が必要ということは当然分かっており、そこをどうにかして手に入れたいという所が CAD に集中したのかなと感じた。女性 30 代、40 代の方が凄く多かったと思うが、やはりそういうニーズをお持ちの方が沢山いるのかなと思った。CAD に限らずプログラミング、Web デザイン等、職業に繋がるイメージの専門知識という所にニーズをお持ちの方がたくさんいらっしゃるのかなと感じた。一般に公募した講座の場合、入学試験をしている訳ではないので、ベースに差があるのは必然というか、致し方ないことだが、もし事前にアンケートを取ったり、簡単な知識テストが出来るのであれば、それをベースに例えば科目を免除するとか、オプションにする等出来れば、簡単すぎたとか時間が長かった的なネガティブな意見は出なくなるのかなと思った。</p> <p>(小笠原委員)</p> <p>受講者の 9 割が女性であったということで、非正規雇用との絡みもあり女性の比率が高くなっているのかなという所が 1 つ感じた所である。受講動機を見ると、スキルアップを考えてと言う方と、興味関心があってという方が半々で、受講者のセミナー、教育に対する思いの差があったのではと思う。短時間で企業のニーズに合うスキルを身に付けるのはなかなか難しいと思うので、今回こういったリカレントをきっかけにして、CAD であり、それ以外のものであり、継続して勉強できるもの提供して行くのが良いのではと感じた。</p> <p>(松浦)</p> <p>次年度もこの事業があるので、今年度いただいたご意見等を踏まえ、次年度は更により良い講座になるよう検討させていただきたいと思っている。</p> <p>令和 4 年度は、今年度実施した合同講座の改善を行い、完成した講座の実施、完成したカリキュラム作成を行う予定である。</p> <p>(事務局) 以上で本日の予定議題の検討が終わり、ほかに報告事項などもないためこれで会議を終了する。</p>
--	---

○令和 3 年度の完成させた事業普及活動の一環として行う事業成果報告会につきましては、新型コロナ感染拡大のため、2 月実施した検討委員会(リモート会議)にて代替とした。

文部科学省委託

「専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト」事業
ものづくり IT 人材育成のためのリスタートプログラム開発事業

令和3年度 事業成果報告書

令和4年3月

学校法人穴吹学園 穴吹ビジネス専門学校

〒720-0052 広島県福山市東町 2-3-6